

平成24年
東京都工業指数年報

(平成22年基準)

平成26年3月



ま え が き

東京都では、都内の工業生産活動の動向を明らかにすることを目的として、毎月、業種別、用途別に生産指数、出荷指数及び在庫指数を作成し、「東京都工業指数月報」として公表しています。

また、月報の数値について最終数値とするため、毎年1回、年間補正及び季節指数の改定を行った上で、「東京都工業指数年報」として公表しています。

今回は、基準年次を平成17年から平成22年に改定した指数により、「平成24年 東京都工業指数年報」としてとりまとめました。

本年報が、各種行財政施策をはじめ、東京都における生産活動の分析や経済研究等の基礎資料として、各方面において広く御活用いただければ幸いです。

最後に、作成に当たり、資料の御提供を頂きました関係者の皆様に、心からお礼を申し上げます。

平成26年3月

東京都総務局統計部長

中 村 豊

目 次

利用上の注意

I 東京都工業指数の概要

東京都工業指数の概要

II 東京都の工業生産活動

1 平成 24 年における工業生産活動

- (1) 生産の動向
- (2) 出荷の動向
- (3) 在庫の動向
- (4) 在庫循環図からみた景気動向

2 業種別の動向

- (1) 鉄鋼業
- (2) 非鉄金属工業
- (3) 金属製品工業
- (4) はん用機械工業
- (5) 生産用機械工業
- (6) 業務用機械工業
- (7) 電子部品・デバイス工業
- (8) 電気機械工業
- (9) 情報通信機械工業
- (10) 輸送機械工業
- (11) 窯業・土石製品工業
- (12) 化学工業
- (13) プラスチック製品工業
- (14) 紙・紙加工品工業
- (15) 繊維工業
- (16) 食料品工業
- (17) 印刷業
- (18) ゴム製品工業
- (19) 皮革製品工業
- (20) 家具工業
- (21) 木材・木製品工業
- (22) その他製品工業

3 特殊分類別の動向

- (1) 資本財
- (2) 建設財
- (3) 耐久消費財
- (4) 非耐久消費財
- (5) 鉱工業用生産財
- (6) その他用生産財

- 4 東京都と全国の動向
 - (1) 工業指数の年、四半期別推移
 - (2) 工業指数（季節調整済指数）の月別推移

Ⅲ 統計表

- 1 業種分類別季節調整済指数
 - (1) 生産指数（付加価値額ウェイト）
 - (2) 出荷指数（出荷額ウェイト）
 - (3) 在庫指数（在庫額ウェイト）
- 2 業種分類別原指数
 - (1) 生産指数（付加価値額ウェイト）
 - (2) 出荷指数（出荷額ウェイト）
 - (3) 在庫指数（在庫額ウェイト）
- 3 特殊分類別季節調整済指数
 - (1) 生産指数（付加価値額ウェイト）
 - (2) 出荷指数（出荷額ウェイト）
 - (3) 在庫指数（在庫額ウェイト）
- 4 特殊分類別原指数
 - (1) 生産指数（付加価値額ウェイト）
 - (2) 出荷指数（出荷額ウェイト）
 - (3) 在庫指数（在庫額ウェイト）

Ⅳ 資料

- 1 業種分類、特殊分類別採用品目数
- 2 業種分類、特殊分類別ウェイト一覧表
- 3 業種分類、採用品目別ウェイト一覧表

付録

東京都工業指数改定の概要（平成 22 年基準）

利用上の注意

- 1 この「平成24年 東京都工業指数年報」は、平成20年以降の四半期別（季節調整済）、年別並びに平成23年及び24年の月別の指数を集録したものである（一部、図・表を除く。）。
- 2 本書に掲載する指数の基準時及びウェイトの時期は、ともに平成22年である。
- 3 時系列比較に用いた指数値は、平成22年基準による平成20年以降の指数値である。
- 4 指数値は、暦年、四半期及び月別に計算している。暦年、四半期の生産指数及び出荷指数は月別指数の平均値を、在庫指数は当該期末値を、それぞれ用いている。
なお、四半期別のⅠ期（第1期）は1～3月期、Ⅱ期（第2期）は4～6月期、Ⅲ期（第3期）は7～9月期、Ⅳ期（第4期）は10～12月期である。
- 5 統計表中の符号等の用法は、次のとおりである。
[0.0] …………… 単位未満（0.05 未満）
[—] …………… 皆無又は該当数値なし
[△] …………… マイナスの数値
- 6 表示されている単位未満は四捨五入している。そのため、総数と内訳の計が一致しない場合がある。
- 7 用語について
 - (1) 年間補正は、月報集計後の確定データが1年間出揃った段階において指数の再計算を行い、月報により公表した指数を補正することをいう。
 - (2) 出荷指数、在庫指数は、それぞれ、生産者出荷指数、生産者製品在庫指数をいう。
 - (3) ことわりのない場合、指数は「製造工業」の指数をいう。
 - (4) 前年比、前期比及び前年同期比は、それぞれ対前年、対前期及び対前年同期の上昇率を意味し、単位は%である。
 - (5) 前年比と前年同期比は原指数により算出し、前期比は季節調整済指数により算出している。
なお、在庫の増減率は、前年末比と前年同期末比が原指数を、前期末比が季節調整済指数を、それぞれ用いている。
 - (6) 寄与度は、特定の内訳の変化が全体をどれだけ変化させたかを表すもので、各内訳項目の寄与度の数値の合計は、全体の増減率に等しい。
- 8 特殊分類別の採用品目数は、1品目を2財に分割している品目があるため、業種分類別の採用品目数よりも多い場合がある。
また、在庫指数の品目には、受注製品等で在庫を把握する必要がないもの及び在庫の把握が困難な品目があるため、生産・出荷指数よりも品目数が少なくなっている。
- 9 平成12年基準改定において鉱業を採用しないこととしたため、平成15年7月以降、名称を「東京都鉱工業指数」から「東京都工業指数」に変更した。

<問い合わせ先>

東京都総務局統計部産業統計課産業統計係
〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号
電話 03-5388-2541（ダイヤルイン）

I 東京都工業指数の概要

東京都工業指数の概要

1 目的

東京都内の工業生産活動の動向を、総合的かつ迅速に把握することを目的としている。

2 基準時

基準時は平成22年である。したがって、指数値は平成22年の平均を100.0とした比率で示されている。また、ウェイトも平成22年の産業構造によって作成している。

3 作成の範囲と分類

- (1) 日本標準産業分類大分類E「製造業」並びにF「電気・ガス・熱供給・水道業」の中分類33「電気業」及び34「ガス業」に属する産業の生産指数、出荷指数及び在庫指数について、原指数と季節調整済指数を作成している。

なお、経済産業省の鉱工業指数で採用されている大分類C「鉱業、採石業、砂利採取業」及びE「製造業」の中分類17「石油製品・石炭製品製造業」は、東京都ではウェイトが小さいため採用していない。

- (2) 分類は、業種分類と特殊分類の2つの分類による。

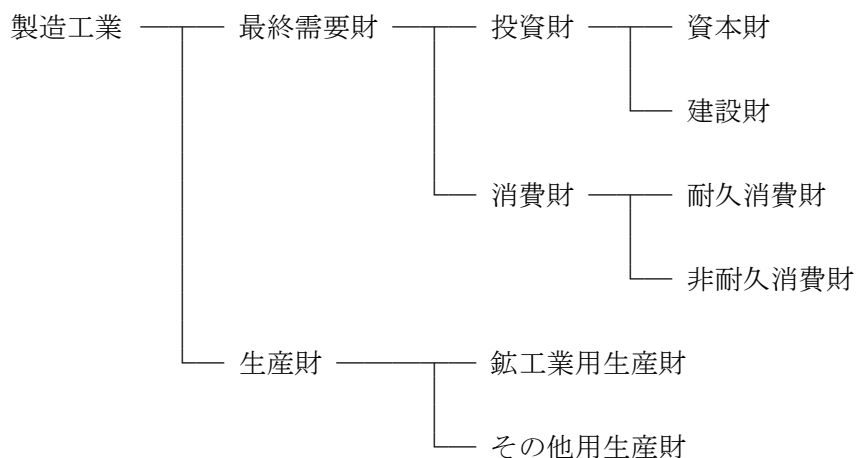
ア 業種分類については、日本標準産業分類の中分類に準拠しているが、一部組替えを行い22区分としている。このほか、生産指数及び出荷指数では、電気・ガス事業を加えて産業総合として示している。

業種分類は次のとおりである。



(注) 網かけは、22業種を示す。

イ 特殊分類は、製造工業の採用品目をその用途により財別に組み替えたもので、構成は次のとおりである。なお、電気・ガス事業は含まれない。



特殊分類（財）の定義

分類	定義
最終需要財	鉱工業又は他の産業に原材料等として投入されない製品 ただし、建設財を含み、企業消費財を除く
投資財	資本財と建設財の合計
資本財	家計以外で購入される製品で、原則として想定耐用年数が 1年以上で比較的購入単価が高いもの
建設財	建築工事用の資材及び建築物に対する内装品（建築用）と 土木工事用の資材（土木用）の合計
消費財	家計で購入される製品（耐久消費財と非耐久消費財の合計）
耐久消費財	原則として想定耐用年数が1年以上で比較的購入単価が 高いもの
非耐久消費財	原則として想定耐用年数が1年未満又は比較的購入単価が 低いもの
生産財	鉱工業及び他の産業に原材料等として投入される製品 ただし、企業消費財を含み、建設財を除く
鉱工業用生産財	鉱工業の生産工程に原材料、燃料、部品、容器、消耗品、 工具等として再投入される製品
その他用生産財	非鉱工業の原材料、燃料、容器、消耗品及び企業消費財

4 採用品目

採用品目は、各業種、財ごとに代表性を考慮し選定している。

生産指数及び出荷指数の採用品目数は176品目である。なお、用途が2つ以上の財にまたがる18品目については、基準時の用途別構成でウェイトを分割することにより複数の系列として取り扱っているため、業種分類と特殊分類では採用品目数が一致しない。

在庫指数は85品目で、生産指数及び出荷指数より少ないが、在庫の把握が極めて困難などの理由から数値が得られない品目があるためである。

なお、採用品目のうち経済産業省所管品目は、主として生産動態統計調査から月々の実績系列を求め（生産指数、出荷指数176品目のうち163品目）、それ以外の品目は業界団体等から実績系列の提供を受けている。

5 算式

算式は、基準年次の固定ウェイトで加重平均するラスパイレス算式である。

(算式)

$$\text{総合指数} = \frac{\left(\frac{\text{品目の比較時数量}}{\text{品目の基準時数量}} \times \text{品目の基準時ウェイト} \right) \text{の合計}}{\text{基準時ウェイトの合計}} \times 100$$

6 ウェイト

ウェイトの算定に当たっては「平成22年工業統計調査」を中心に、「生産動態統計調査」の結果などを基礎資料として使用している。具体的な内容は次のとおりである。

(1) 生産指数のウェイト

工業統計調査による産業別付加価値額を基礎として算定しており、基準年次の付加価値額でみた各業種分類、各特殊分類及び各品目の製造工業に対する比率（1万分比）で示している。

(2) 出荷指数のウェイト

工業統計調査による出荷額を用いて算定しており、基準年次の生産者出荷額でみた各業種分類、各特殊分類及び各品目の製造工業に対する比率（1万分比）で示している。

(3) 在庫指数のウェイト

工業統計調査による在庫額を用いて算定しており、基準年次の生産者製品在庫額でみた各業種分類、各特殊分類及び各品目の製造工業に対する比率（1万分比）で示している。

(4) ウェイトの算定について

各業種分類別のウェイトを算定し、次いで各業種分類の特殊分類別構成比によって各業種分類ごとの特殊分類ウェイトを算定している。

7 季節調整

季節調整は、景気の動向にかかわらず、1年を通してほぼ規則的に繰り返す季節的な変動要素（気候条件の変化や社会的な慣習、制度等）を取り除くために行っている。

季節調整法は、米国センサス局が開発したセンサス局法のX-12-ARIMA（Ver.0.2.10）を使用している。

平成22年基準では、季節調整の期間をこれまでの7年間（84か月）から8年間（96か月）に変更している。

季節調整の方法は、まず、平成17年1月から平成24年12月までの8年間の季節調整済指数（季節変動分を除去した系列の指数）を基に、この8年間における典型的な季節変動のパターンである季節指数を算出する。そして、それを用いて、平成25年1月以降について、原指数（指数作成用データをそのまま指数化した原系列の指数）を割ることにより季節調整済指数を算出する方法で、季節調整を行っている。

季節調整済指数は、主に短期的な動向（前月比、前期比）をみるのに利用され、原指数は長期的な動向（前年比、前年同月比、前年同期比）をみるのに利用されている。

8 過去の時系列指数の再計算

「東京都工業指数」では、平成22年基準の指数について、平成17年1月まで遡及して基礎データから再計算を行い、時系列（月次）の指数を作成し、公表している。

一方、平成16年12月以前については、便宜的に、平成17年1月から3月までの時点で平成17年基準と平成22年基準との接続^(注)を行い、参考値として平成7年1月まで遡って時系列の指数（接続指数）を作成し、公表している。

（注）平成7年1月から平成16年12月までの接続指数は、この期間の平成17年基準の指数に接続係数を乗じる方法で作成している（接続係数の算出方法は以下のとおり）。

$$\text{接続係数} = \frac{\text{平成22年基準の平成17年1～3月平均指数（季節調整済）}}{\text{平成17年基準の平成17年1～3月平均指数（季節調整済）}}$$

なお、接続指数は、便宜的に平成17年基準の指数に接続係数を乗じて平成22年基準の指数水準に修正しているだけであり、平成17年基準と平成22年基準それぞれの採用品目やウェイトの違いなどは考慮されていない。このため、接続指数はあくまで参考値としての利用にとどめるなど、長期間にわたる比較の際には注意が必要である。

9 その他

全国の指数は、経済産業省大臣官房調査統計グループの「鉱工業（生産・出荷・在庫）指数確報」によった。

経済産業省ホームページ URL：<http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>

II 東京都の工業生産活動

1 平成 24 年における工業生産活動

(1) 生産の動向

生産指数(原指数)は、前年比 3.4%上昇
 四半期別(季節調整済指数)では、第2四半期まで上昇し、その後は低下、上昇

平成 24 年の生産指数(原指数)は、99.9 で前年比 3.4%の上昇となった。
 業種別の前年比でみると、輸送機械工業(26.7%)、情報通信機械工業(20.0%) など 9 業種が
 上昇となった。一方、ゴム製品工業(△22.7%)、生産用機械工業(△20.2%) など 13 業種が低下
 となった。

寄与度でみると、輸送機械工業(3.8%)、情報通信機械工業(1.2%)などが主な上昇要因であ
 った。

平成 24 年の四半期別指数(季節調整済指数)は、第 2 四半期まで上昇し、第 3 四半期は低下、
 第 4 四半期は上昇となった。

(図 1、図 2、表 1)

図1 生産指数の推移(平成 22 年平均=100.0)

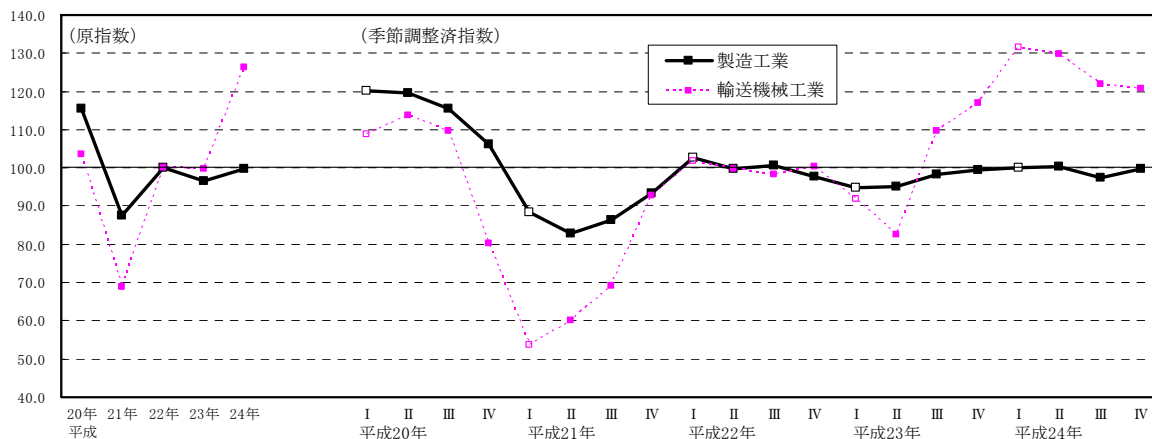


図2 生産指数対前年比の業種別寄与度

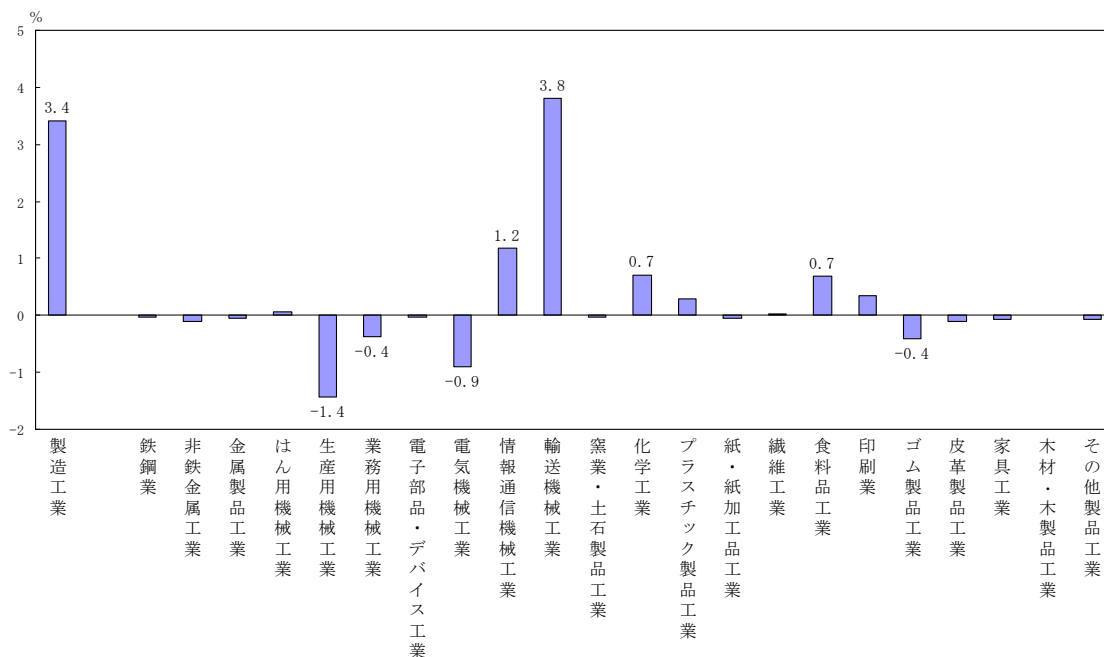


表1 業種分類別及び特殊分類別生産指数

区 分	原指数				季節調整済指数			
	平成23年	平成24年	前年比	寄与度	平成24年			
					I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
(業種分類別)			%	%				
製 造 工 業	96.6	99.9	3.4	3.4	100.0	100.3	97.4	99.7
鉄 鋼 業	95.5	93.3	△ 2.3	△ 0.0	98.9	98.9	91.4	84.5
非 鉄 金 属 工 業	86.0	76.6	△ 10.9	△ 0.1	79.4	73.2	76.3	76.4
金 属 製 品 工 業	99.0	97.4	△ 1.6	△ 0.1	96.9	99.2	95.4	96.8
はん用・生産用・業務用機械工業	104.2	92.1	△ 11.6	△ 1.7	90.9	97.1	88.6	90.3
は ん 用 機 械 工 業	107.7	109.9	2.0	0.1	116.7	115.0	104.3	103.3
生 産 用 機 械 工 業	109.8	87.6	△ 20.2	△ 1.4	83.2	94.6	83.0	83.5
業 務 用 機 械 工 業	95.1	87.5	△ 8.0	△ 0.4	89.4	86.7	86.6	90.0
電 子 部 品 ・ デ バ イ ス 工 業	86.9	86.4	△ 0.6	△ 0.0	86.6	78.2	84.1	91.0
電 気 機 械 工 業	95.2	88.6	△ 6.9	△ 0.9	90.5	88.0	84.7	87.5
情 報 通 信 機 械 工 業	82.1	98.5	20.0	1.2	97.4	94.9	92.5	102.7
輸 送 機 械 工 業	99.8	126.4	26.7	3.8	131.4	129.9	121.8	120.9
窯 業 ・ 土 石 製 品 工 業	105.6	104.1	△ 1.4	△ 0.0	106.1	105.8	102.1	101.6
化 学 工 業	99.3	107.0	7.8	0.7	102.6	105.3	102.3	118.0
プ ラ ス チ ッ ク 製 品 工 業	88.1	103.2	17.1	0.3	115.1	108.4	97.2	94.5
紙 ・ 紙 加 工 品 工 業	102.1	95.2	△ 6.8	△ 0.1	98.0	93.0	93.5	93.3
織 維 工 業	105.1	106.9	1.7	0.0	108.7	114.6	101.6	99.7
食 料 品 工 業	97.7	107.1	9.6	0.7	102.8	106.3	106.5	108.6
印 刷 工 業	97.8	100.2	2.5	0.3	99.8	97.3	103.5	99.6
そ の 他 工 業	90.2	80.6	△ 10.6	△ 0.7	81.7	82.4	79.7	77.2
ゴ ム 製 品 工 業	74.9	57.9	△ 22.7	△ 0.4	73.7	57.9	52.1	48.3
皮 革 製 品 工 業	88.6	75.2	△ 15.1	△ 0.1	73.2	78.3	74.6	74.5
家 具 工 業	87.1	81.3	△ 6.7	△ 0.1	56.2	89.8	95.8	86.7
木 材 ・ 木 製 品 工 業	103.2	107.9	4.6	0.0	105.8	107.0	107.3	113.5
そ の 他 製 品 工 業	109.5	105.8	△ 3.4	△ 0.1	115.7	109.2	100.1	100.3
(参考系列)								
電 気 ・ ガ ス 事 業	110.0	135.4	23.1	-	139.3	116.1	129.2	143.1
産 業 総 合 (製 造 工 業 ・ 電 気 ・ ガ ス 事 業)	96.8	100.4	3.7	-	100.6	100.5	97.9	100.4
(特殊分類別)								
製 造 工 業	96.6	99.9	3.4	3.4	100.0	100.3	97.4	99.7
最 終 需 要 財	96.9	101.1	4.3	2.6	99.8	104.3	97.5	101.1
投 資 財	100.6	102.3	1.7	0.7	102.3	105.7	98.9	98.2
資 本 財	99.7	101.2	1.5	0.5	100.5	105.0	98.1	96.7
建 設 財	108.7	113.1	4.0	0.2	116.6	113.2	107.0	113.2
消 費 財	91.1	99.3	9.0	2.0	97.9	97.2	96.2	106.2
耐 久 消 費 財	81.3	90.1	10.8	0.9	92.0	92.1	84.7	94.7
非 耐 久 消 費 財	98.3	106.1	7.9	1.1	101.4	105.2	103.0	114.5
生 産 財	96.0	98.0	2.1	0.8	99.8	97.2	97.4	96.5
鉱 工 業 用 生 産 財	93.9	95.4	1.6	0.3	99.1	95.1	92.9	93.4
そ の 他 用 生 産 財	98.6	101.1	2.5	0.5	99.8	99.3	103.3	100.5

注) 網かけは、22業種を示す。

(2) 出荷の動向

出荷指数(原指数)は、前年比 2.8%上昇
 四半期別(季節調整済指数)では、第2四半期に上昇し、その後は低下、上昇

平成 24 年の出荷指数（原指数）は、98.6 で前年比 2.8%の上昇となった。
 業種別の前年比でみると、輸送機械工業（26.0%）、情報通信機械工業（15.9%）など 9 業種で
 上昇となった。一方、ゴム製品工業（△25.4%）、生産用機械工業（△23.6%）など 13 業種が低下
 となった。

寄与度でみると、輸送機械工業（4.0%）、情報通信機械工業（1.4%）などが主な上昇要因であ
 った。

平成 24 年の四半期別指数（季節調整済指数）は、第 2 四半期に上昇し、第 3 四半期は低下、第
 4 四半期は上昇となった。

(図 3、図 4、表 2)

図3 出荷指数の推移 (平成 22 年平均=100.0)

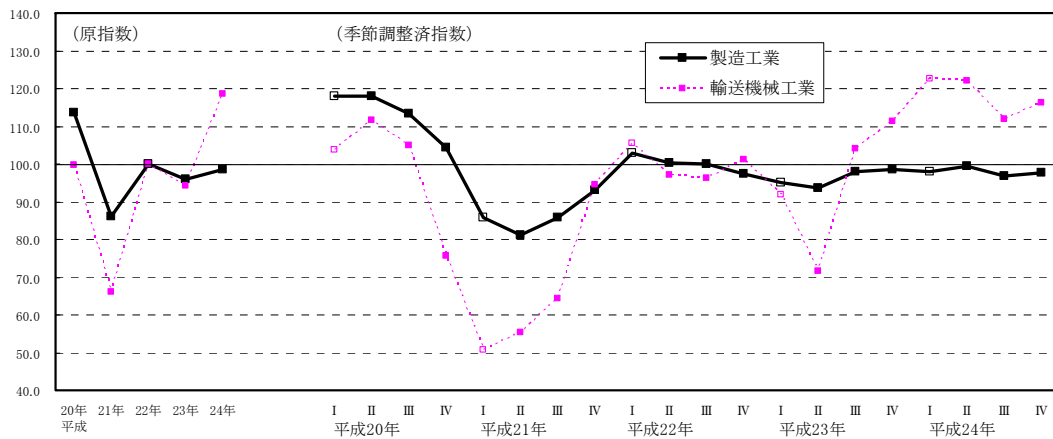


図4 出荷指数対前年比の業種別寄与度

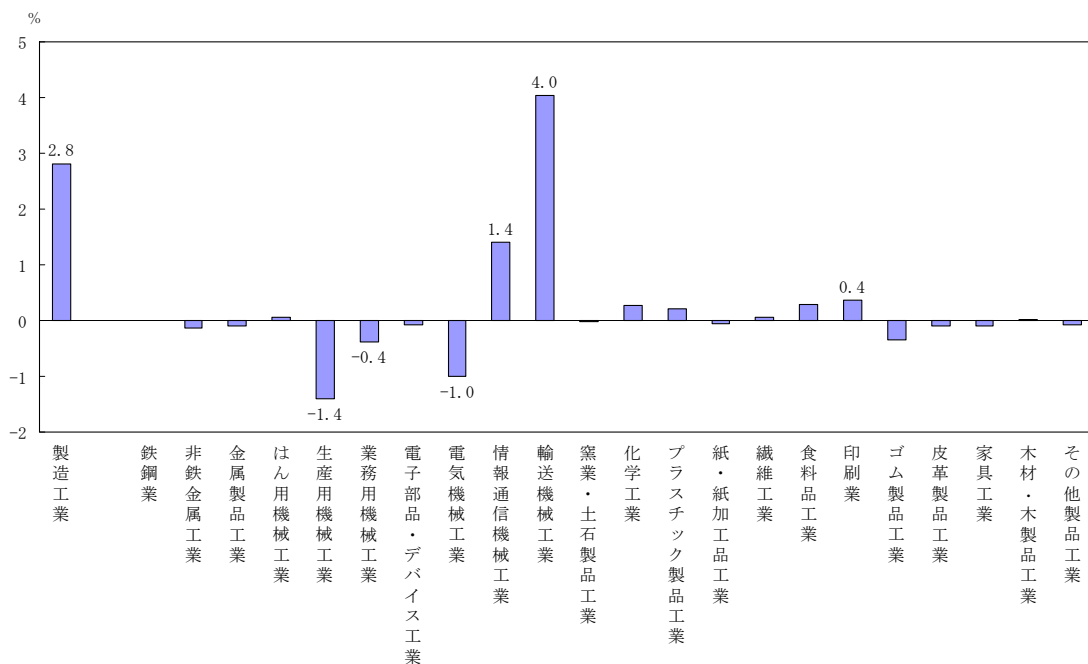


表2 業種分類別及び特殊分類別出荷指数

区 分	原指数				季節調整済指数			
	平成23年	平成24年	前年比	寄与度	平成24年			
					I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
(業種分類別)			%	%				
製 造 工 業	95.9	98.6	2.8	2.8	97.9	99.5	96.9	97.7
鉄 鋼 業	96.2	95.8	△ 0.4	△ 0.0	101.2	100.2	93.7	88.0
非 鉄 金 属 工 業	84.5	75.5	△ 10.7	△ 0.1	77.0	73.9	73.3	77.2
金 属 製 品 工 業	98.5	95.2	△ 3.4	△ 0.1	96.4	96.2	93.5	93.8
はん用・生産用・業務用機械工業	104.4	90.3	△ 13.5	△ 1.7	88.8	94.3	85.6	89.9
はん用機械工業	104.3	106.2	1.8	0.0	112.0	113.4	101.2	98.5
生産用機械工業	108.9	83.2	△ 23.6	△ 1.4	82.5	91.4	77.6	75.4
業務用機械工業	98.5	89.4	△ 9.2	△ 0.4	84.9	81.4	89.1	101.0
電子部品・デバイス工業	88.1	86.7	△ 1.6	△ 0.1	74.1	81.7	91.0	95.1
電気機械工業	97.9	90.5	△ 7.6	△ 1.0	92.2	90.4	86.9	88.8
情報通信機械工業	84.8	98.3	15.9	1.4	96.3	97.0	96.2	96.2
輸送機械工業	94.1	118.6	26.0	4.0	122.7	122.1	111.8	116.1
窯業・土石製品工業	105.5	103.6	△ 1.8	△ 0.0	102.6	103.0	103.3	103.9
化学工業	99.9	104.6	4.7	0.3	102.2	104.5	99.5	112.2
プラスチック製品工業	89.2	98.8	10.8	0.2	109.8	101.4	94.6	91.0
紙・紙加工品工業	102.3	95.3	△ 6.8	△ 0.1	97.4	96.0	93.8	94.9
繊維工業	104.1	109.5	5.2	0.1	111.9	117.7	103.7	101.7
食料品工業	100.7	104.8	4.1	0.3	103.6	103.5	105.5	105.4
印刷工業	97.7	100.2	2.6	0.4	99.8	97.3	103.4	99.5
その他の工業	91.2	82.4	△ 9.6	△ 0.6	82.0	84.7	82.7	80.2
ゴム製品工業	76.3	56.9	△ 25.4	△ 0.3	67.4	58.6	52.6	50.6
皮革製品工業	90.2	78.2	△ 13.3	△ 0.1	82.4	77.8	77.0	77.6
家具工業	87.0	79.4	△ 8.7	△ 0.1	55.0	88.1	90.1	86.3
木材・木製品工業	103.7	112.2	8.2	0.0	110.8	121.3	108.7	115.8
その他の製品工業	102.2	99.4	△ 2.7	△ 0.1	108.9	99.9	98.7	94.1
(参考系列)								
電気・ガス事業	109.8	135.0	23.0	-	138.9	116.0	128.9	142.6
産業総合(製造工業、電気・ガス事業)	96.1	99.4	3.4	-	98.8	99.9	97.7	98.6
(特殊分類別)								
製 造 工 業	95.9	98.6	2.8	2.8	97.9	99.5	96.9	97.7
最 終 需 要 財	95.9	99.2	3.4	1.9	97.5	102.7	96.2	97.6
投 資 財	98.7	99.6	0.9	0.3	98.6	102.1	96.7	94.5
資 本 財	98.0	98.8	0.8	0.3	97.2	102.5	96.0	94.1
建 設 財	106.9	108.1	1.1	0.0	111.6	106.9	104.2	107.4
消 費 財	91.1	98.6	8.2	1.6	97.7	97.6	96.4	102.4
耐 久 消 費 財	83.6	94.5	13.0	1.3	93.5	91.4	91.6	101.6
非 耐 久 消 費 財	100.6	103.6	3.0	0.3	102.3	104.1	100.6	107.6
生 産 財	95.8	97.9	2.2	0.9	97.9	97.4	97.7	96.5
鉱工業用生産財	93.8	96.1	2.5	0.6	96.3	96.1	95.4	95.4
その他用生産財	98.6	100.4	1.8	0.3	100.8	98.4	102.0	99.2

注) 網かけは、22業種を示す。

(3) 在庫の動向

在庫指数(原指数)は、前年末比 9.4%上昇
 四半期別(季節調整済指数)では、第2四半期に低下、その後は上昇

平成24年の在庫指数(原指数)は、123.6で前年末比9.4%の上昇となった。
 業種別の前年末比で見ると、情報通信機械工業(78.7%)、ゴム製品工業(68.6%)など11業種が上昇となった。一方、生産用機械工業(△43.4%)、木材・木製品工業(△41.6%)など10業種が低下となった。

寄与度で見ると、情報通信機械工業(8.8%)、輸送機械工業(3.6%)などが主な上昇要因であった。

平成24年の四半期別指数(季節調整済指数)は、第2四半期に低下した後、第3四半期以降は上昇となった。

(図5、図6、表3)

図5 在庫指数の推移 (平成22年平均=100.0)

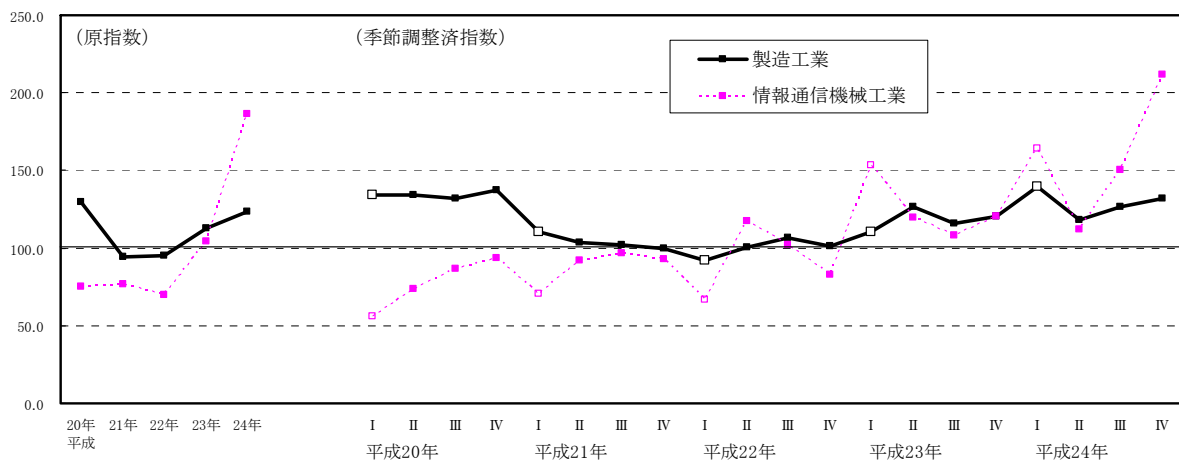


図6 在庫指数対前年末比の業種別寄与度

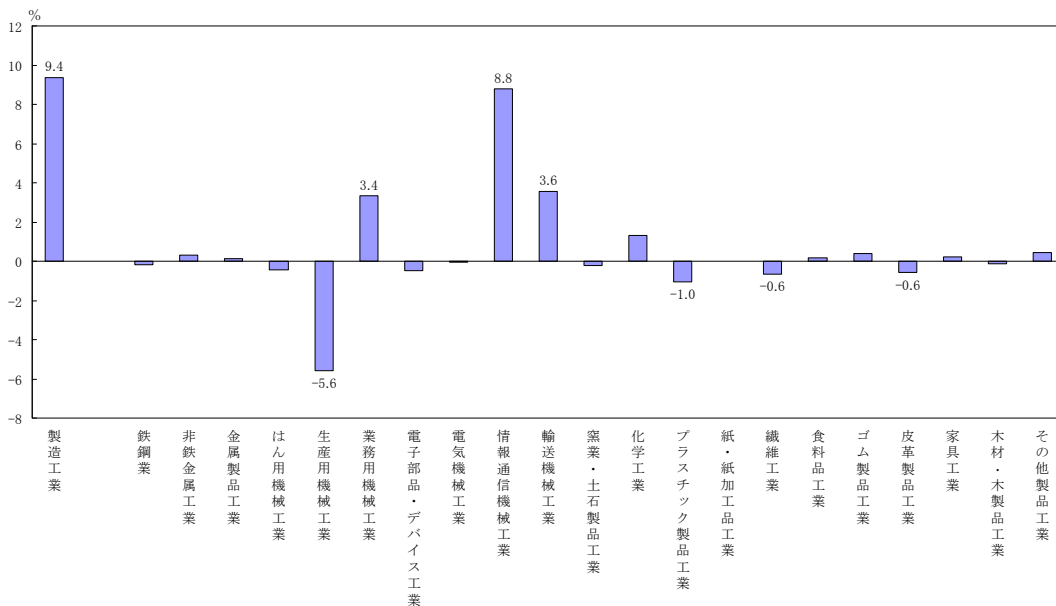


表3 業種分類別及び特殊分類別在庫指数

区 分	原指数				季節調整済指数			
	平成23年	平成24年	前年末比	寄与度	平成24年			
					I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
(業種分類別)			%	%				
製 造 工 業	113.0	123.6	9.4	9.4	139.2	118.3	126.4	131.6
鉄 鋼 業	93.0	84.5	△ 9.1	△ 0.2	90.6	89.5	85.1	84.4
非 鉄 金 属 工 業	112.4	123.8	10.1	0.3	115.4	117.3	124.1	123.4
金 属 製 品 工 業	47.9	51.2	6.9	0.1	43.2	52.6	50.9	50.8
はん用・生産用・業務用機械工業	147.3	134.1	△ 9.0	△ 2.6	155.1	107.9	129.9	129.0
は ん 用 機 械 工 業	91.0	66.6	△ 26.8	△ 0.4	86.8	86.2	79.6	68.5
生 産 用 機 械 工 業	204.4	115.7	△ 43.4	△ 5.6	209.2	49.2	138.8	119.4
業 務 用 機 械 工 業	125.5	153.6	22.4	3.4	130.5	133.4	129.3	151.9
電 子 部 品 ・ デ バ イ ス 工 業	164.8	147.1	△ 10.7	△ 0.5	163.2	198.9	153.3	139.7
電 気 機 械 工 業	106.1	105.7	△ 0.4	△ 0.0	119.8	114.9	112.2	114.2
情 報 通 信 機 械 工 業	104.1	186.0	78.7	8.8	163.9	112.1	150.1	211.6
輸 送 機 械 工 業	116.6	145.6	24.9	3.6	226.1	162.0	174.4	173.1
窯 業 ・ 土 石 製 品 工 業	101.3	93.4	△ 7.8	△ 0.2	112.9	117.6	105.5	98.3
化 学 工 業	89.6	112.3	25.3	1.3	128.4	121.4	124.3	116.7
プ ラ ス チ ッ ク 製 品 工 業	113.1	88.8	△ 21.5	△ 1.0	109.1	112.8	92.1	92.4
紙 ・ 紙 加 工 品 工 業	96.1	96.7	0.6	0.0	101.3	92.1	106.6	99.3
織 維 工 業	266.9	226.5	△ 15.1	△ 0.6	260.7	238.8	234.9	226.7
食 料 品 工 業	64.8	81.4	25.6	0.2	109.6	96.3	86.6	120.3
そ の 他 工 業	74.6	78.1	4.7	0.4	82.2	85.8	88.3	84.6
ゴ ム 製 品 工 業	15.3	25.8	68.6	0.4	52.4	56.9	56.8	43.0
皮 革 製 品 工 業	95.6	69.8	△ 27.0	△ 0.6	72.0	70.8	71.7	67.5
家 具 工 業	73.5	95.2	29.5	0.2	75.2	68.0	88.4	94.9
木 材 ・ 木 製 品 工 業	105.2	61.4	△ 41.6	△ 0.1	96.7	79.9	71.8	60.5
そ の 他 製 品 工 業	125.6	138.5	10.3	0.5	122.0	134.0	136.7	133.8
(特殊分類別)								
製 造 工 業	113.0	123.6	9.4	9.4	139.2	118.3	126.4	131.6
最 終 需 要 財	111.6	120.9	8.3	6.2	141.7	112.8	123.8	129.3
投 資 財	137.2	147.9	7.8	3.8	185.4	134.8	146.6	156.4
資 本 財	142.1	158.3	11.4	5.0	200.2	140.6	155.2	167.9
建 設 財	101.8	74.0	△ 27.3	△ 1.2	94.8	97.1	82.5	76.0
消 費 財	83.4	91.2	9.4	2.5	98.6	91.7	96.7	97.5
耐 久 消 費 財	82.4	97.6	18.4	2.7	106.6	98.3	106.4	106.4
非 耐 久 消 費 財	84.7	83.0	△ 2.0	△ 0.2	87.0	86.3	85.1	86.8
生 産 財	115.9	116.9	0.9	0.2	129.8	130.6	125.6	121.4
鉱 工 業 用 生 産 財	117.0	117.6	0.5	0.1	129.9	131.4	125.8	121.4
そ の 他 用 生 産 財	84.0	96.1	14.4	0.1	117.5	112.7	120.3	128.5

注1) 網かけは、21業種を示す。

2) 暦年の値は当該年末値、四半期別の値は当該期末値である。

(4) 在庫循環図からみた景気動向

生産指数と在庫指数の推移を在庫循環図でみると、平成22年は全期で「在庫積み増し局面」で推移している。平成23年は全期で「在庫積み上がり局面」で推移している。平成24年は第1期で「在庫積み上がり局面」、第2期は「意図せざる在庫減局面」に推移し、第3・4四半期は、再び「在庫積み上がり局面」に推移した。

(図7、表4)

図7 在庫循環図(製造工業)

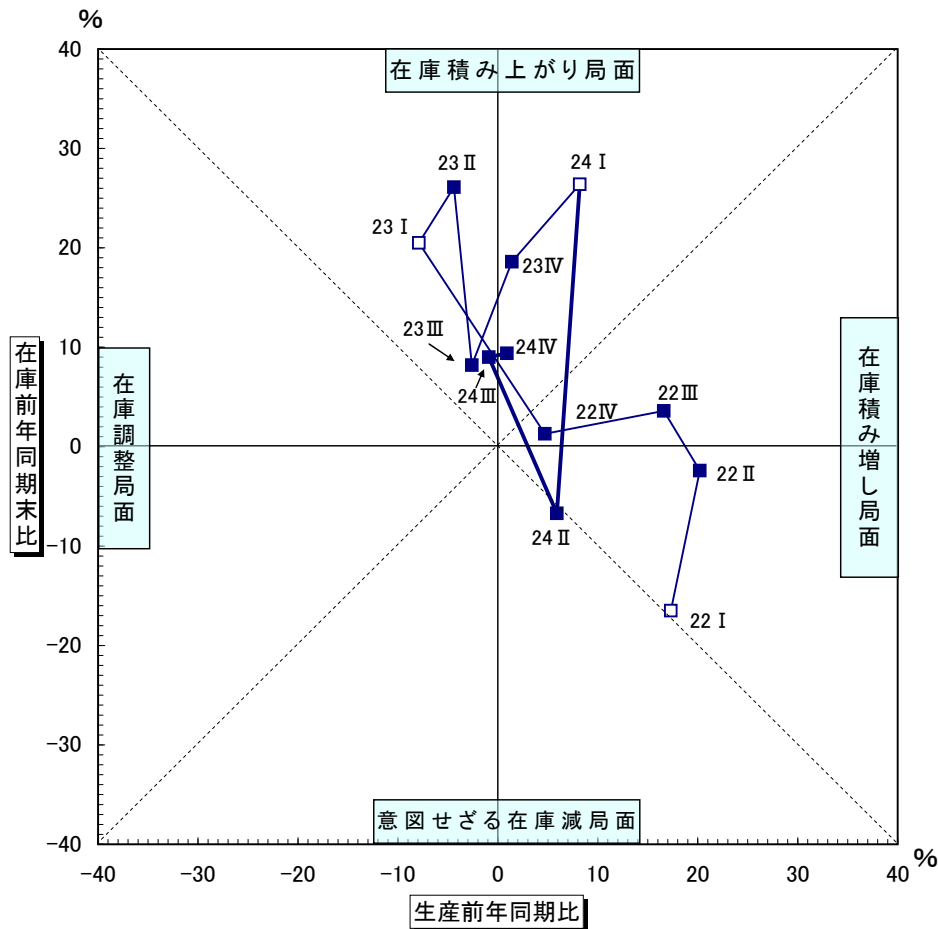


表4 生産指数と在庫指数の推移

項目	平成22年	平成23年	平成24年	平成22年				平成23年				平成24年			
				I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
(生産指数)	100.0	96.6	99.9	106.0	93.9	101.9	98.2	97.6	89.8	99.3	99.6	105.6	95.1	98.4	100.5
前年・前年同期比	14.4	△3.4	3.4	17.3	20.2	16.6	4.7	△7.9	△4.4	△2.6	1.4	8.2	5.9	△0.9	0.9
(在庫指数)	95.3	113.0	123.6	86.4	103.0	105.7	95.3	104.1	129.9	114.4	113.0	131.6	121.2	124.7	123.6
前年・前年同期末比	1.3	18.6	9.4	△16.5	△2.4	3.6	1.3	20.5	26.1	8.2	18.6	26.4	△6.7	9.0	9.4

- 注1) 年指数、四半期指数ともに、原指数である。
 2) 在庫循環図は下記のような在庫局面があり、一般的には反時計回りに進むとされている。
- 在庫調整局面
意図した水準を超えた在庫を減らして在庫調整を図る。
 - 意図せざる在庫減局面
需要の増加に生産が追いつかず、在庫が減少する。
 - 在庫積み増し局面
需要が供給より多くなると需要に対応しようと在庫を積み増す。
 - 在庫積み上がり局面
供給が需要より多くなると意図した在庫水準を超え在庫が積み上がる。

2 業種別の動向

(1) 鉄鋼業

生産、出荷はともに2年連続の低下

図8 鉄鋼業の推移 (平成22年平均=100.0)

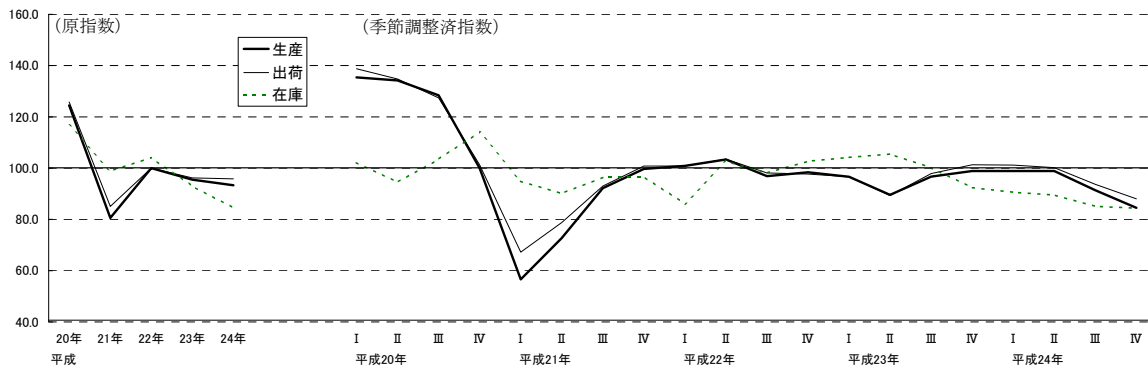


表5 鉄鋼業の推移 (平成22年平均=100.0)

項目	平成23年	平成24年	平成23年				平成24年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
(生産指数)	95.5	93.3	96.6	89.6	96.7	98.9	98.9	91.4	84.5	
前期比	-	-	△ 1.8	△ 7.2	7.9	2.3	0.0	0.0	△ 7.6	△ 7.5
前年・前年同期比	△ 4.5	△ 2.3	△ 4.6	△ 13.2	△ 0.3	0.3	2.3	10.3	△ 5.6	△ 14.6
(出荷指数)	96.2	95.8	96.6	89.3	97.9	101.3	101.2	100.2	93.7	88.0
前期比	-	-	△ 1.1	△ 7.6	9.6	3.5	△ 0.1	△ 1.0	△ 6.5	△ 6.1
前年・前年同期比	△ 3.8	△ 0.4	△ 4.2	△ 13.7	△ 0.2	3.4	5.3	11.9	△ 4.3	△ 12.7
(在庫指数)	93.0	84.5	104.2	105.5	100.1	92.4	90.6	89.5	85.1	84.4
前期末比	-	-	1.5	1.2	△ 5.1	△ 7.7	△ 1.9	△ 1.2	△ 4.9	△ 0.8
前年・前年同期末比	△ 10.7	△ 9.1	20.9	4.0	1.7	△ 10.7	△ 13.0	△ 14.4	△ 15.0	△ 9.1

注1) 前期比及び前期末比は季節調整済指数、前年・前年同期比及び前年・前年同期末比は原指数で計算している。

2) 年指数は原指数、四半期指数は季節調整済指数である。

(2) 非鉄金属工業

生産、出荷はともに低下が続く(2年連続で前年比△10%超)

図9 非鉄金属工業の推移 (平成22年平均=100.0)

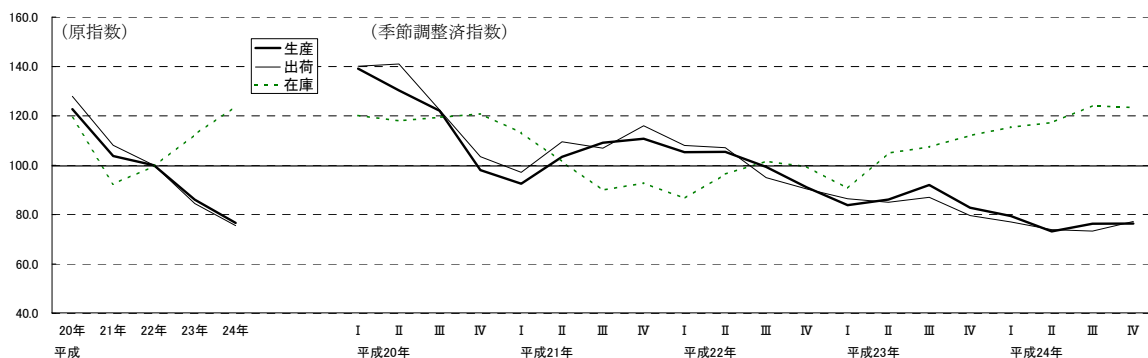


表6 非鉄金属工業の推移 (平成22年平均=100.0)

項目	平成23年	平成24年	平成23年				平成24年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
(生産指数)	86.0	76.6	83.8	86.1	92.0	82.8	79.4	73.2	76.3	76.4
前期比	-	-	△ 7.9	2.7	6.9	△ 10.0	△ 4.1	△ 7.8	4.2	0.1
前年・前年同期比	△ 14.0	△ 10.9	△ 20.3	△ 18.2	△ 7.5	△ 9.5	△ 3.6	△ 14.6	△ 16.8	△ 7.3
(出荷指数)	84.5	75.5	86.4	85.0	87.0	79.6	77.0	73.9	73.3	77.2
前期比	-	-	△ 4.4	△ 1.6	2.4	△ 8.5	△ 3.3	△ 4.0	△ 0.8	5.3
前年・前年同期比	△ 15.5	△ 10.7	△ 21.0	△ 20.9	△ 8.0	△ 11.2	△ 7.1	△ 14.0	△ 16.5	△ 3.9
(在庫指数)	112.4	123.8	90.6	104.9	107.4	112.0	115.4	117.3	124.1	123.4
前期末比	-	-	△ 8.9	15.8	2.4	4.3	3.0	1.6	5.8	△ 0.6
前年・前年同期末比	12.9	10.1	3.2	8.6	7.0	12.9	25.8	11.7	16.4	10.1

注1) 前期比及び前期末比は季節調整済指数、前年・前年同期比及び前年・前年同期末比は原指数で計算している。

2) 年指数は原指数、四半期指数は季節調整済指数である。

(3) 金属製品工業 **生産、出荷はともに低下が続く**

図10 金属製品工業の推移 (平成22年平均=100.0)

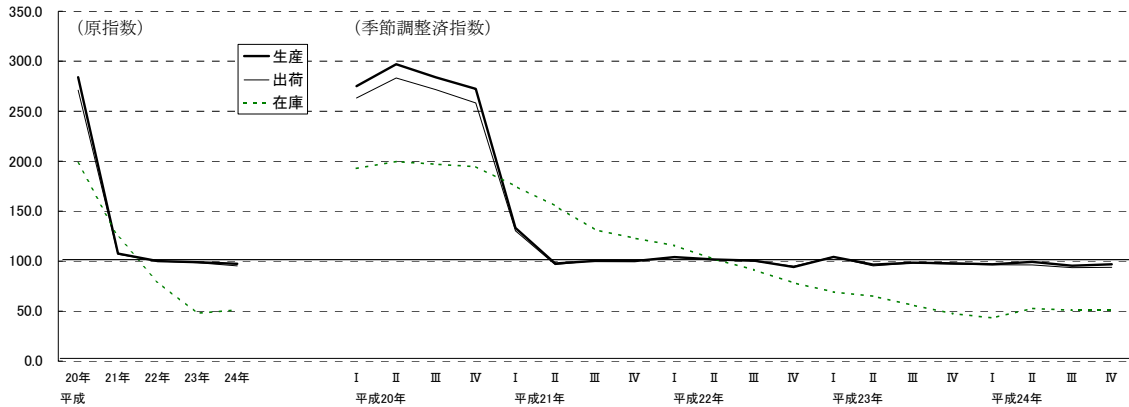


表7 金属製品工業の推移 (平成22年平均=100.0)

項目	平成23年	平成24年	平成23年				平成24年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
(生産指数)	99.0	97.4	104.2	96.5	98.5	97.9	96.9	99.2	95.4	96.8
前期比	-	-	10.7	△7.4	2.1	△0.6	△1.0	2.4	△3.8	1.5
前年・前年同期比	△1.0	△1.6	0.6	△5.3	△2.4	3.1	△3.9	2.8	△4.3	△0.7
(出荷指数)	98.5	95.2	104.2	95.2	98.2	97.1	96.4	96.2	93.5	93.8
前期比	-	-	9.8	△8.6	3.2	△1.1	△0.7	△0.2	△2.8	0.3
前年・前年同期比	△1.5	△3.4	0.7	△6.5	△2.1	1.5	△4.4	0.8	△6.3	△3.2
(在庫指数)	47.9	51.2	69.2	65.0	55.8	47.5	43.2	52.6	50.9	50.8
前期末比	-	-	△11.6	△6.1	△14.2	△14.9	△9.1	21.8	△3.2	△0.2
前年・前年同期末比	△39.4	6.9	△40.7	△36.3	△38.4	△39.4	△38.1	△19.1	△8.4	6.9

注1) 前期比及び前期末比は季節調整済指数、前年・前年同期比及び前年・前年同期末比は原指数で計算している。
 2) 年指数は原指数、四半期指数は季節調整済指数である。

(4) はん用機械工業 **生産、出荷はともに3年連続の上昇**

図11 はん用機械工業の推移 (平成22年平均=100.0)

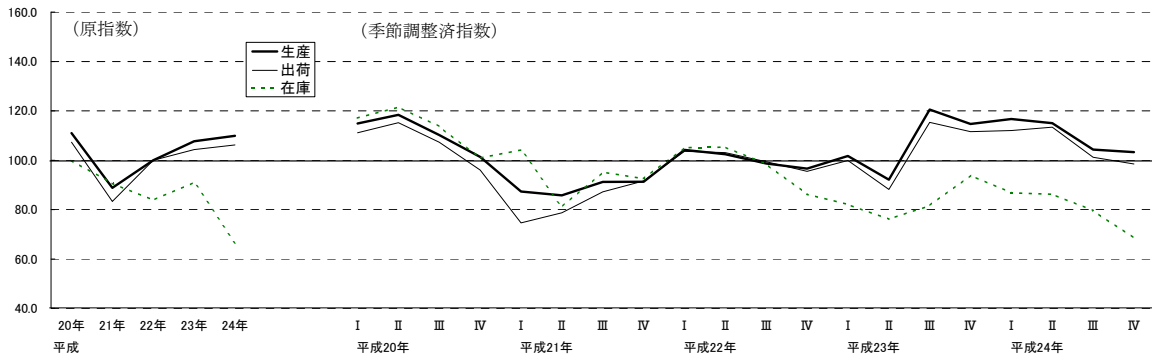


表8 はん用機械工業の推移 (平成22年平均=100.0)

項目	平成23年	平成24年	平成23年				平成24年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
(生産指数)	107.7	109.9	101.7	92.1	120.5	114.7	116.7	115.0	104.3	103.3
前期比	-	-	5.3	△9.4	30.8	△4.8	1.7	△1.5	△9.3	△1.0
前年・前年同期比	7.7	2.0	△1.8	△9.0	22.7	17.3	16.5	23.9	△13.6	△9.3
(出荷指数)	104.3	106.2	99.9	88.2	115.3	111.6	112.0	113.4	101.2	98.5
前期比	-	-	4.6	△11.7	30.7	△3.2	0.4	1.3	△10.8	△2.7
前年・前年同期比	4.3	1.8	△3.2	△13.8	16.9	15.5	13.9	27.6	△12.3	△11.3
(在庫指数)	91.0	66.6	82.1	76.1	81.6	93.9	86.8	86.2	79.6	68.5
前期末比	-	-	△4.8	△7.3	7.2	15.1	△7.6	△0.7	△7.7	△13.9
前年・前年同期末比	8.6	△26.8	△21.3	△27.6	△16.9	8.6	6.2	13.2	△2.3	△26.8

注1) 前期比及び前期末比は季節調整済指数、前年・前年同期比及び前年・前年同期末比は原指数で計算している。
 2) 年指数は原指数、四半期指数は季節調整済指数である。

(5) 生産用機械工業

生産、出荷はともに3年ぶりに低下(前年比△20%超)

図12 生産用機械工業の推移 (平成22年平均=100.0)

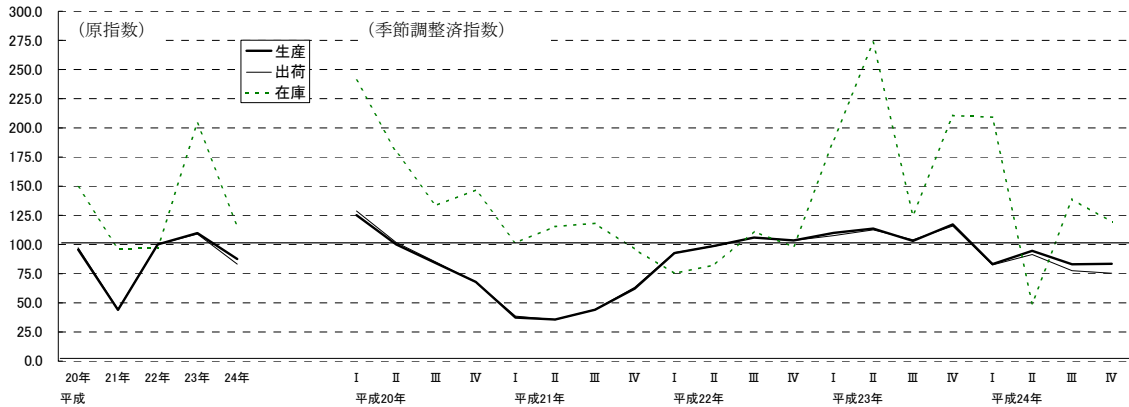


表9 生産用機械工業の推移 (平成22年平均=100.0)

項目	平成23年	平成24年	平成23年				平成24年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
(生産指数)	109.8	87.6	109.9	113.7	103.1	117.2	83.2	94.6	83.0	83.5
前期比	-	-	6.2	3.5	△ 9.3	13.7	△ 29.0	13.7	△ 12.3	0.6
前年・前年同期比	9.8	△ 20.2	15.5	18.2	△ 3.6	12.6	△ 23.6	△ 12.7	△ 18.3	△ 26.9
(出荷指数)	108.9	83.2	107.6	112.6	104.0	115.8	82.5	91.4	77.6	75.4
前期比	-	-	4.0	4.6	△ 7.6	11.3	△ 28.8	10.8	△ 15.1	△ 2.8
前年・前年同期比	8.9	△ 23.6	12.7	17.7	△ 2.8	11.3	△ 23.5	△ 14.3	△ 24.4	△ 32.9
(在庫指数)	204.4	115.7	189.3	273.2	124.9	210.5	209.2	49.2	138.8	119.4
前期末比	-	-	93.2	44.3	△ 54.3	68.5	△ 0.6	△ 76.5	182.1	△ 14.0
前年・前年同期末比	110.9	△ 43.4	158.5	217.7	14.7	110.9	12.9	△ 82.5	11.6	△ 43.4

注1) 前期比及び前期末比は季節調整済指数、前年・前年同期比及び前年・前年同期末比は原指数で計算している。
 2) 年指数は原指数、四半期指数は季節調整済指数である。

(6) 業務用機械工業

生産、出荷はともに2年連続の低下

図13 業務用機械工業の推移 (平成22年平均=100.0)

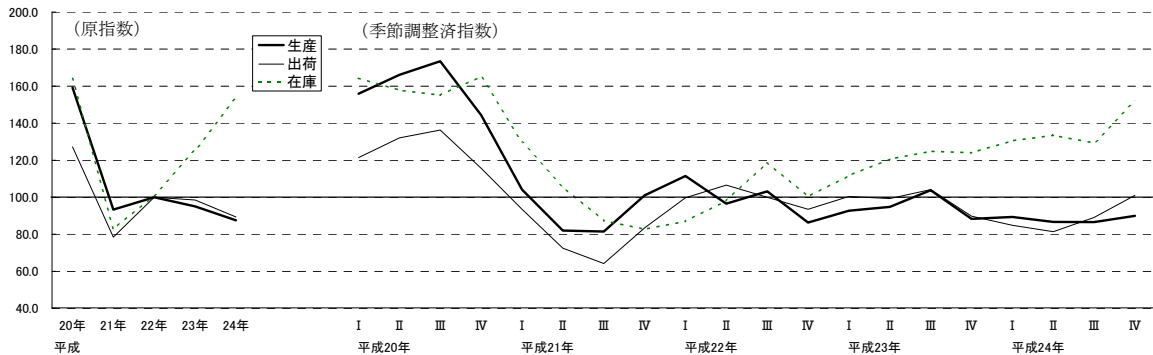


表10 業務用機械工業の推移 (平成22年平均=100.0)

項目	平成23年	平成24年	平成23年				平成24年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
(生産指数)	95.1	87.5	92.7	94.8	103.8	88.3	89.4	86.7	86.6	90.0
前期比	-	-	7.4	2.3	9.5	△ 14.9	1.2	△ 3.0	△ 0.1	3.9
前年・前年同期比	△ 4.9	△ 8.0	△ 17.0	△ 2.5	1.1	2.1	△ 5.7	△ 10.2	△ 16.2	1.4
(出荷指数)	98.5	89.4	100.4	99.3	104.1	89.8	84.9	81.4	89.1	101.0
前期比	-	-	7.4	△ 1.1	4.8	△ 13.7	△ 5.5	△ 4.1	9.5	13.4
前年・前年同期比	△ 1.5	△ 9.2	0.0	△ 7.2	4.2	△ 3.8	△ 14.3	△ 18.7	△ 14.4	12.4
(在庫指数)	125.5	153.6	111.7	120.6	124.8	124.0	130.5	133.4	129.3	151.9
前期末比	-	-	11.4	8.0	3.5	△ 0.6	5.2	2.2	△ 3.1	17.5
前年・前年同期末比	24.3	22.4	28.5	23.2	5.1	24.3	16.8	10.8	3.6	22.4

注1) 前期比及び前期末比は季節調整済指数、前年・前年同期比及び前年・前年同期末比は原指数で計算している。
 2) 年指数は原指数、四半期指数は季節調整済指数である。

(7) 電子部品・デバイス工業 **生産、出荷はともに2年連続の低下(低下の度合いは緩やかに)**

図14 電子部品・デバイス工業の推移 (平成22年平均=100.0)

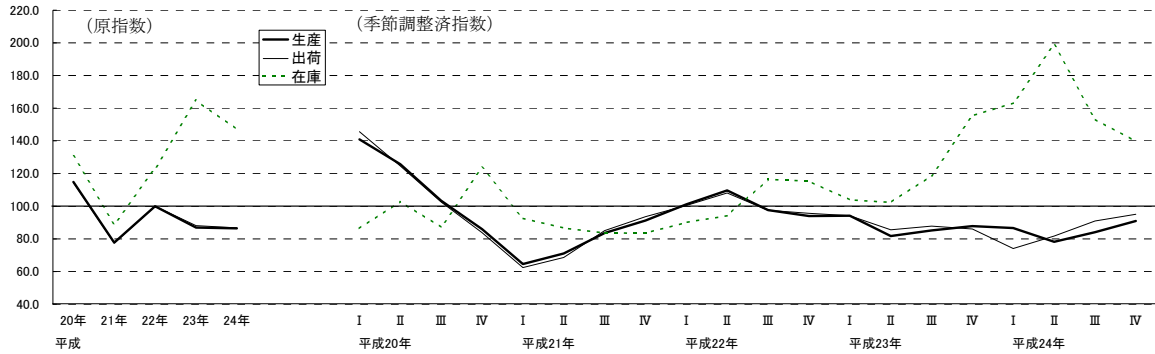


表11 電子部品・デバイス工業の推移 (平成22年平均=100.0)

項目	平成23年	平成24年	平成23年				平成24年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
(生産指数)	86.9	86.4	94.2	81.7	85.2	87.8	86.6	78.2	84.1	91.0
前期比	-	-	0.2	△13.3	4.3	3.1	△1.4	△9.7	7.5	8.2
前年・前年同期比	△13.1	△0.6	△6.9	△26.3	△12.0	△6.4	△3.5	△4.3	△0.8	5.7
(出荷指数)	88.1	86.7	94.2	85.6	87.8	86.1	74.1	81.7	91.0	95.1
前期比	-	-	△1.6	△9.1	2.6	△1.9	△13.9	10.3	11.4	4.5
前年・前年同期比	△11.9	△1.6	△5.9	△21.2	△9.5	△10.2	△19.0	△4.0	4.1	12.5
(在庫指数)	164.8	147.1	103.9	102.3	118.8	155.3	163.2	198.9	153.3	139.7
前期末比	-	-	△10.0	△1.5	16.1	30.7	5.1	21.9	△22.9	△8.9
前年・前年同期末比	34.0	△10.7	14.4	8.7	1.4	34.0	56.5	95.1	28.3	△10.7

注1) 前期比及び前期末比は季節調整済指数、前年・前年同期比及び前年・前年同期末比は原指数で計算している。
 2) 年指数は原指数、四半期指数は季節調整済指数である。

(8) 電気機械工業 **生産、出荷はともに2年連続の低下**

図15 電気機械工業の推移 (平成22年平均=100.0)

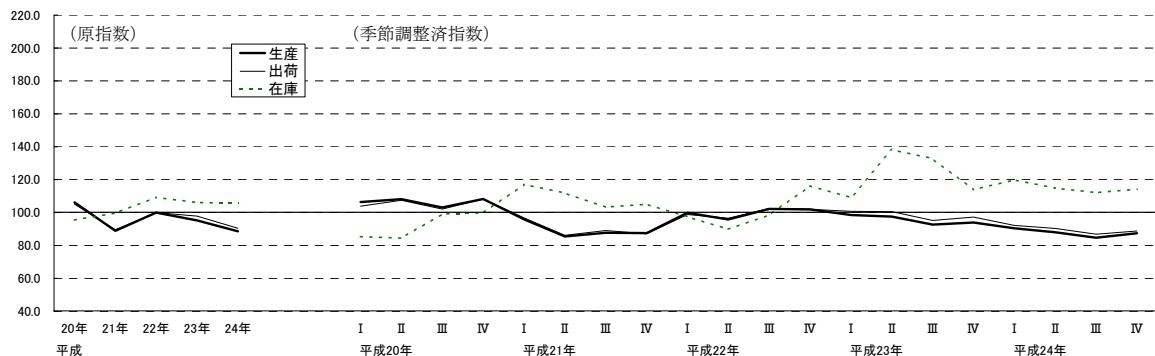


表12 電気機械工業の推移 (平成22年平均=100.0)

項目	平成23年	平成24年	平成23年				平成24年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
(生産指数)	95.2	88.6	98.5	97.6	92.7	94.0	90.5	88.0	84.7	87.5
前期比	-	-	△3.3	△0.9	△5.0	1.4	△3.7	△2.8	△3.8	3.3
前年・前年同期比	△4.8	△6.9	△1.6	0.6	△10.9	△6.2	△5.7	△9.2	△8.1	△5.3
(出荷指数)	97.9	90.5	100.8	100.6	95.2	97.3	92.2	90.4	86.9	88.8
前期比	-	-	△1.2	△0.2	△5.4	2.2	△5.2	△2.0	△3.9	2.2
前年・前年同期比	△2.1	△7.6	1.4	3.0	△8.7	△3.2	△5.7	△9.7	△8.5	△7.0
(在庫指数)	106.1	105.7	109.1	138.2	132.8	113.9	119.8	114.9	112.2	114.2
前期末比	-	-	△6.1	26.7	△3.9	△14.2	5.2	△4.1	△2.3	1.8
前年・前年同期末比	△2.8	△0.4	11.5	54.5	35.1	△2.8	9.3	△16.4	△15.4	△0.4

注1) 前期比及び前期末比は季節調整済指数、前年・前年同期比及び前年・前年同期末比は原指数で計算している。
 2) 年指数は原指数、四半期指数は季節調整済指数である。

(9) 情報通信機械工業

生産、出荷はともに2年ぶりに上昇(前年比で10%超)

図16 情報通信機械工業の推移 (平成22年平均=100.0)

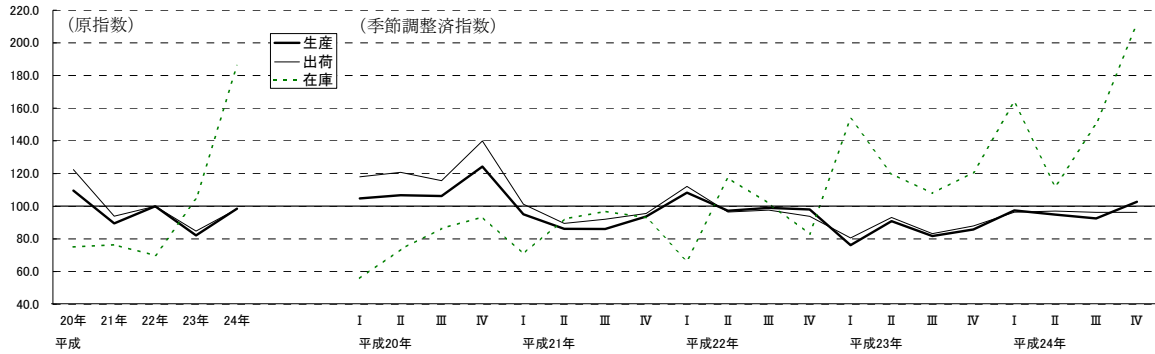


表13 情報通信機械工業の推移 (平成22年平均=100.0)

項目	平成23年	平成24年	平成23年				平成24年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
(生産指数)	82.1	98.5	76.2	90.9	81.7	85.8	97.4	94.9	92.5	102.7
前期比	-	-	△ 22.2	19.3	△ 10.1	5.0	13.5	△ 2.6	△ 2.5	11.0
前年・前年同期比	△ 17.9	20.0	△ 28.2	△ 5.4	△ 18.0	△ 12.9	29.5	8.9	15.4	23.1
(出荷指数)	84.8	98.3	80.6	93.1	83.2	87.9	96.3	97.0	96.2	96.2
前期比	-	-	△ 14.1	15.5	△ 10.6	5.6	9.6	0.7	△ 0.8	0.0
前年・前年同期比	△ 15.2	15.9	△ 26.3	△ 3.1	△ 14.8	△ 7.7	21.3	9.5	17.8	12.6
(在庫指数)	104.1	186.0	153.7	119.9	107.9	120.6	163.9	112.1	150.1	211.6
前期末比	-	-	85.2	△ 22.0	△ 10.0	11.8	35.9	△ 31.6	33.9	41.0
前年・前年同期末比	48.9	78.7	128.5	3.2	6.7	48.9	6.0	△ 6.1	38.4	78.7

注1) 前期比及び前期末比は季節調整済指数、前年・前年同期比及び前年・前年同期末比は原指数で計算している。
 2) 年指数は原指数、四半期指数は季節調整済指数である。

(10) 輸送機械工業

生産、出荷はともに2年ぶりに上昇(前年比で20%超)

図17 輸送機械工業の推移 (平成22年平均=100.0)

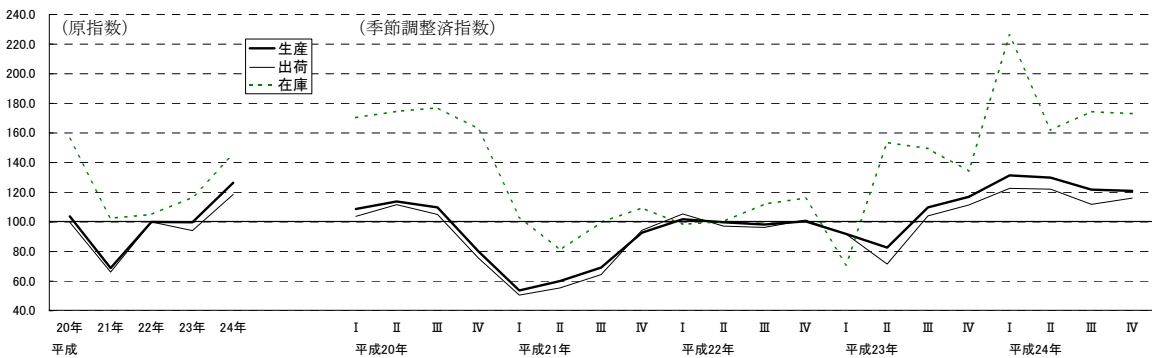


表14 輸送機械工業の推移 (平成22年平均=100.0)

項目	平成23年	平成24年	平成23年				平成24年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
(生産指数)	99.8	126.4	91.9	82.7	109.8	116.9	131.4	129.9	121.8	120.9
前期比	-	-	△ 8.5	△ 10.0	32.8	6.5	12.4	△ 1.1	△ 6.2	△ 0.7
前年・前年同期比	△ 0.2	26.7	△ 11.2	△ 16.2	10.7	15.6	50.3	55.0	9.5	4.6
(出荷指数)	94.1	118.6	91.8	71.6	104.1	111.4	122.7	122.1	111.8	116.1
前期比	-	-	△ 9.4	△ 22.0	45.4	7.0	10.1	△ 0.5	△ 8.4	3.8
前年・前年同期比	△ 5.9	26.0	△ 15.0	△ 25.1	7.0	9.1	43.0	66.4	6.0	5.1
(在庫指数)	116.6	145.6	71.1	153.6	149.6	134.3	226.1	162.0	174.4	173.1
前期末比	-	-	△ 38.8	116.0	△ 2.6	△ 10.2	68.4	△ 28.4	7.7	△ 0.7
前年・前年同期末比	11.0	24.9	△ 25.7	55.5	30.6	11.0	227.4	6.6	14.3	24.9

注1) 前期比及び前期末比は季節調整済指数、前年・前年同期比及び前年・前年同期末比は原指数で計算している。
 2) 年指数は原指数、四半期指数は季節調整済指数である。

(11) 窯業・土石製品工業

生産、出荷はともに2年ぶりに低下

図18 窯業・土石製品工業の推移 (平成22年平均=100.0)

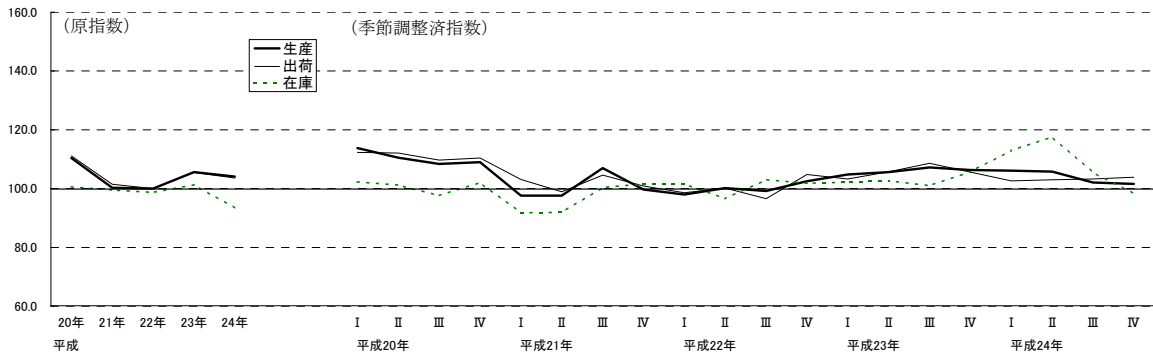


表15 窯業・土石製品工業の推移 (平成22年平均=100.0)

項目	平成23年	平成24年	平成23年				平成24年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
(生産指数)	105.6	104.1	104.8	105.6	107.2	106.3	106.1	105.8	102.1	101.6
前期比	-	-	2.2	0.8	1.5	△ 0.8	△ 0.2	△ 0.3	△ 3.5	△ 0.5
前年・前年同期比	5.6	△ 1.4	6.5	5.6	7.8	2.9	1.5	1.0	△ 5.2	△ 2.9
(出荷指数)	105.5	103.6	103.3	105.7	108.6	105.6	102.6	103.0	103.3	103.9
前期比	-	-	△ 1.4	2.3	2.7	△ 2.8	△ 2.8	0.4	0.3	0.6
前年・前年同期比	5.5	△ 1.8	4.7	5.8	11.8	0.4	△ 0.5	△ 1.8	△ 4.7	0.0
(在庫指数)	101.3	93.4	102.2	102.7	101.0	105.7	112.9	117.6	105.5	98.3
前期末比	-	-	0.4	0.5	△ 1.7	4.7	6.8	4.2	△ 10.3	△ 6.8
前年・前年同期末比	2.6	△ 7.8	1.1	7.4	△ 2.4	2.6	10.8	15.5	4.2	△ 7.8

注1) 前期比及び前期末比は季節調整済指数、前年・前年同期比及び前年・前年同期末比は原指数で計算している。
 2) 年指数は原指数、四半期指数は季節調整済指数である。

(12) 化学工業

生産、出荷はともに上昇に転じる

図19 化学工業の推移 (平成22年平均=100.0)

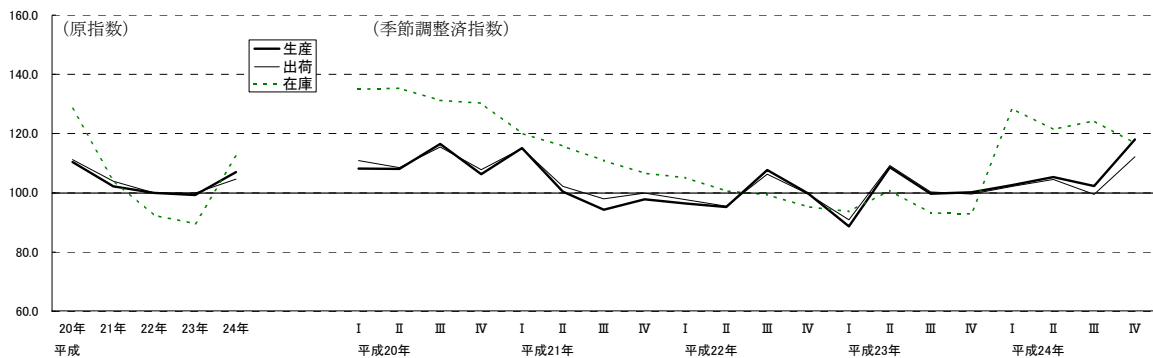


表16 化学工業の推移 (平成22年平均=100.0)

項目	平成23年	平成24年	平成23年				平成24年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
(生産指数)	99.3	107.0	88.7	108.6	99.7	100.2	102.6	105.3	102.3	118.0
前期比	-	-	△ 11.1	22.4	△ 8.2	0.5	2.4	2.6	△ 2.8	15.3
前年・前年同期比	△ 0.7	7.8	△ 8.9	13.6	△ 7.5	0.6	15.7	△ 2.3	1.3	17.2
(出荷指数)	99.9	104.6	90.9	109.2	100.3	99.6	102.2	104.5	99.5	112.2
前期比	-	-	△ 8.7	20.1	△ 8.2	△ 0.7	2.6	2.3	△ 4.8	12.8
前年・前年同期比	△ 0.1	4.7	△ 7.7	14.0	△ 5.8	△ 0.2	12.3	△ 3.4	△ 1.7	12.7
(在庫指数)	89.6	112.3	93.7	100.8	93.2	92.9	128.4	121.4	124.3	116.7
前期末比	-	-	△ 1.7	7.6	△ 7.5	△ 0.3	38.2	△ 5.5	2.4	△ 6.1
前年・前年同期末比	△ 3.0	25.3	△ 10.9	0.6	△ 6.0	△ 3.0	37.0	20.8	33.4	25.3

注1) 前期比及び前期末比は季節調整済指数、前年・前年同期比及び前年・前年同期末比は原指数で計算している。
 2) 年指数は原指数、四半期指数は季節調整済指数である。

(13) プラスチック製品工業

生産、出荷はともに2年ぶりに上昇

図20 プラスチック製品工業の推移 (平成22年平均=100.0)

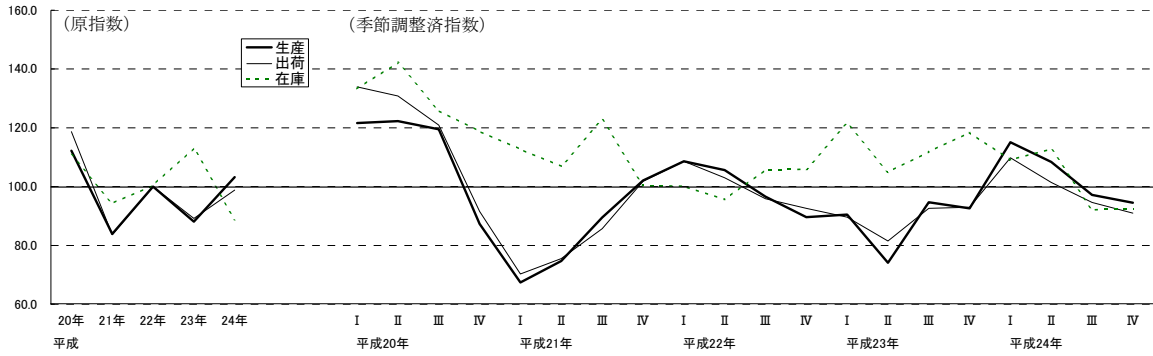


表17 プラスチック製品工業の推移 (平成22年平均=100.0)

項目	平成23年	平成24年	平成23年				平成24年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
(生産指数)	88.1	103.2	90.5	74.1	94.7	92.6	115.1	108.4	97.2	94.5
前期比	-	-	1.0	△18.1	27.8	△2.2	24.3	△5.8	△10.3	△2.8
前年・前年同期比	△11.9	17.1	△15.7	△30.2	△3.1	2.3	28.4	43.8	1.7	2.8
(出荷指数)	89.2	98.8	89.6	81.5	92.6	93.0	109.8	101.4	94.6	91.0
前期比	-	-	△3.2	△9.0	13.6	0.4	18.1	△7.7	△6.7	△3.8
前年・前年同期比	△10.8	10.8	△16.6	△21.3	△4.2	△0.3	22.9	23.3	1.2	△1.3
(在庫指数)	113.1	88.8	121.5	104.9	111.8	118.4	109.1	112.8	92.1	92.4
前期末比	-	-	14.7	△13.7	6.6	5.9	△7.9	3.4	△18.4	0.3
前年・前年同期末比	12.6	△21.5	20.9	9.5	4.5	12.6	△10.1	7.4	△18.1	△21.5

注1) 前期比及び前期末比は季節調整済指数、前年・前年同期比及び前年・前年同期末比は原指数で計算している。
 2) 年指数は原指数、四半期指数は季節調整済指数である。

(14) 紙・紙加工品工業

生産は3年ぶり、出荷は2年ぶりに低下

図21 紙・紙加工品工業の推移 (平成22年平均=100.0)

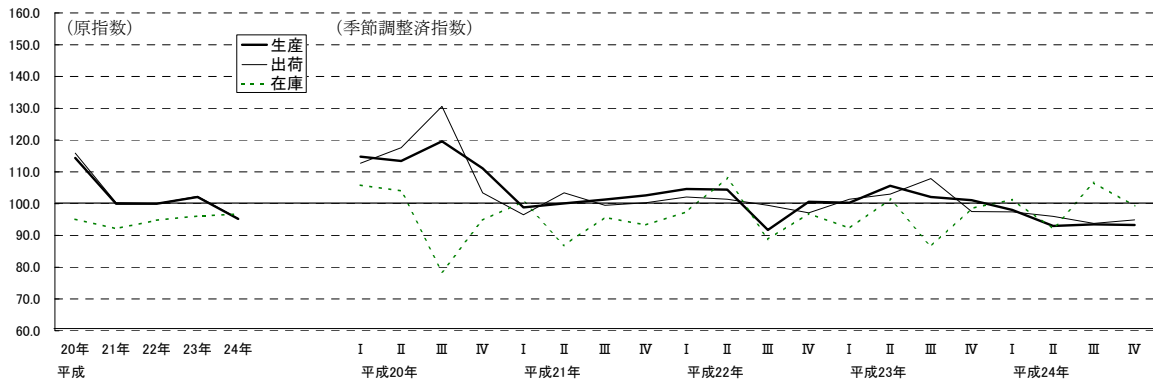


表18 紙・紙加工品工業の推移 (平成22年平均=100.0)

項目	平成23年	平成24年	平成23年				平成24年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
(生産指数)	102.1	95.2	100.3	105.6	102.1	101.1	98.0	93.0	93.5	93.3
前期比	-	-	△0.3	5.3	△3.3	△1.0	△3.1	△5.1	0.5	△0.2
前年・前年同期比	2.1	△6.8	△3.2	1.6	11.0	0.3	△1.2	△10.8	△7.4	△6.8
(出荷指数)	102.3	95.3	101.4	103.0	107.9	97.5	97.4	96.0	93.8	94.9
前期比	-	-	4.4	1.6	4.8	△9.6	△0.1	△1.4	△2.3	1.2
前年・前年同期比	2.3	△6.8	△1.1	1.9	9.6	△0.7	△3.0	△7.1	△14.2	△2.9
(在庫指数)	96.1	96.7	92.3	101.4	86.6	98.5	101.3	92.1	106.6	99.3
前期末比	-	-	△4.7	9.9	△14.6	13.7	2.8	△9.1	15.7	△6.8
前年・前年同期末比	1.4	0.6	△5.3	△5.8	△3.2	1.4	9.2	△9.2	22.4	0.6

注1) 前期比及び前期末比は季節調整済指数、前年・前年同期比及び前年・前年同期末比は原指数で計算している。
 2) 年指数は原指数、四半期指数は季節調整済指数である。

(15) 繊維工業 **生産、出荷は2年連続の上昇**

図22 繊維工業の推移 (平成22年平均=100.0)

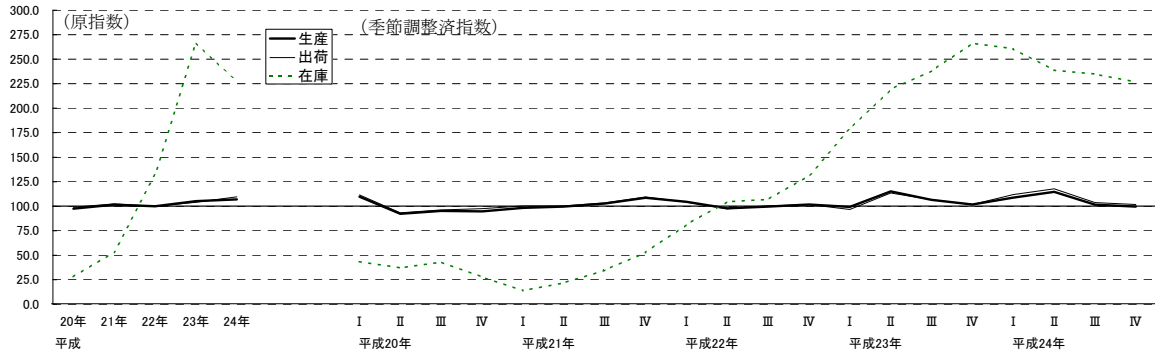


表19 繊維工業の推移 (平成22年平均=100.0)

項目	平成23年	平成24年	平成23年				平成24年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
(生産指数)	105.1	106.9	99.3	115.2	106.4	101.8	108.7	114.6	101.6	99.7
前期比	-	-	△ 2.4	16.0	△ 7.6	△ 4.3	6.8	5.4	△ 11.3	△ 1.9
前年・前年同期比	5.1	1.7	△ 4.2	18.6	6.2	1.1	7.8	3.3	△ 3.2	△ 0.2
(出荷指数)	104.1	109.5	96.7	113.5	106.7	101.8	111.9	117.7	103.7	101.7
前期比	-	-	△ 5.0	17.4	△ 6.0	△ 4.6	9.9	5.2	△ 11.9	△ 1.9
前年・前年同期比	4.1	5.2	△ 6.3	17.6	6.0	0.8	12.7	7.9	△ 1.3	2.2
(在庫指数)	266.9	226.5	178.5	219.4	237.9	266.4	260.7	238.8	234.9	226.7
前期末比	-	-	35.9	22.9	8.4	12.0	△ 2.1	△ 8.4	△ 1.6	△ 3.5
前年・前年同期末比	102.2	△ 15.1	122.6	111.4	118.9	102.2	47.0	9.3	△ 2.1	△ 15.1

注1) 前期比及び前期末比は季節調整済指数、前年・前年同期比及び前年・前年同期末比は原指数で計算している。
2) 年指数は原指数、四半期指数は季節調整済指数である。

(16) 食料品工業 **生産は上昇に転じ、出荷は3年連続の上昇**

図23 食料品工業の推移 (平成22年平均=100.0)

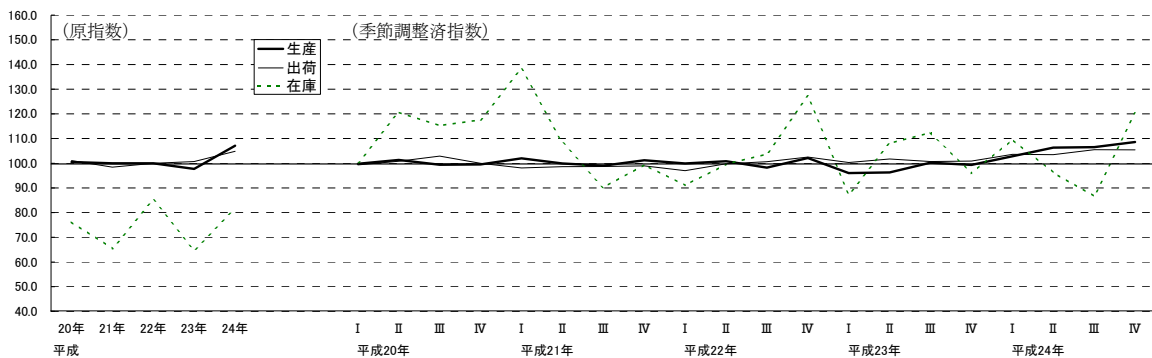


表20 食料品工業の推移 (平成22年平均=100.0)

項目	平成23年	平成24年	平成23年				平成24年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
(生産指数)	97.7	107.1	96.0	96.3	100.2	99.3	102.8	106.3	106.5	108.6
前期比	-	-	△ 6.0	0.3	4.0	△ 0.9	3.5	3.4	0.2	2.0
前年・前年同期比	△ 2.3	9.6	△ 3.7	△ 4.5	2.0	△ 2.8	9.6	11.1	6.8	10.8
(出荷指数)	100.7	104.8	100.3	101.7	100.7	100.9	103.6	103.5	105.5	105.4
前期比	-	-	△ 2.1	1.4	△ 1.0	0.2	2.7	△ 0.1	1.9	△ 0.1
前年・前年同期比	0.7	4.1	3.3	1.8	0.2	△ 1.9	4.5	2.2	4.6	5.2
(在庫指数)	64.8	81.4	87.4	108.0	112.4	95.9	109.6	96.3	86.6	120.3
前期末比	-	-	△ 31.2	23.6	4.1	△ 14.7	14.3	△ 12.1	△ 10.1	38.9
前年・前年同期末比	△ 23.9	25.6	△ 3.9	8.9	8.8	△ 23.9	25.5	△ 11.2	△ 22.6	25.6

注1) 前期比及び前期末比は季節調整済指数、前年・前年同期比及び前年・前年同期末比は原指数で計算している。
2) 年指数は原指数、四半期指数は季節調整済指数である。

(17) 印刷業 **生産、出荷はともに2年ぶりに上昇**

図24 印刷業の推移 (平成22年平均=100.0)

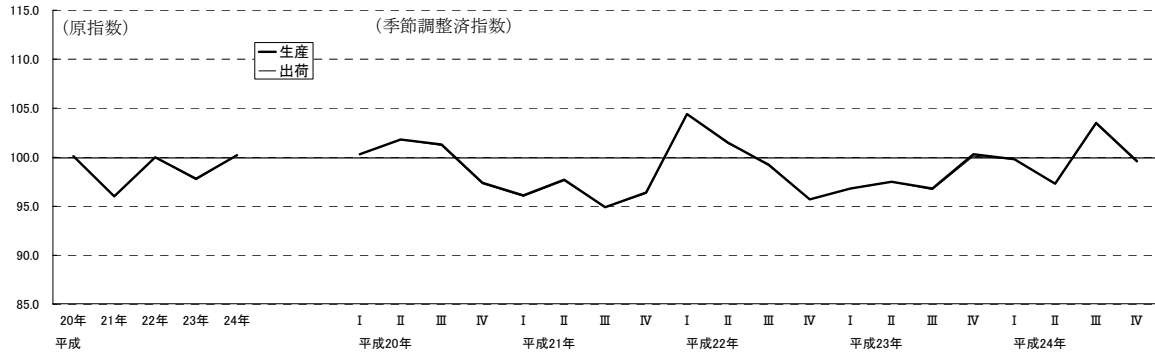


表21 印刷業の推移 (平成22年平均=100.0)

項目	平成23年	平成24年	平成23年				平成24年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
(生産指数)	97.8	100.2	96.8	97.5	96.8	100.3	99.8	97.3	103.5	99.6
前期比	-	-	1.1	0.7	△ 0.7	3.6	△ 0.5	△ 2.5	6.4	△ 3.8
前年・前年同期比	△ 2.2	2.5	△ 6.9	△ 4.2	△ 2.0	4.7	3.9	△ 0.3	7.4	△ 0.7
(出荷指数)	97.7	100.2	96.8	97.5	96.7	100.1	99.8	97.3	103.4	99.5
前期比	-	-	1.1	0.7	△ 0.8	3.5	△ 0.3	△ 2.5	6.3	△ 3.8
前年・前年同期比	△ 2.3	2.6	△ 6.9	△ 4.2	△ 2.1	4.6	3.8	△ 0.3	7.4	△ 0.6
(在庫指数)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
前期末比	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
前年・前年同期末比	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

注1) 前期比は季節調整済指数、前年・前年同期比は原指数で計算している。
2) 年指数は原指数、四半期指数は季節調整済指数である。

(18) ゴム製品工業 **生産は2年連続の低下、出荷は低下が続く(2年連続で前年比△20%超)**

図25 ゴム製品工業の推移 (平成22年平均=100.0)

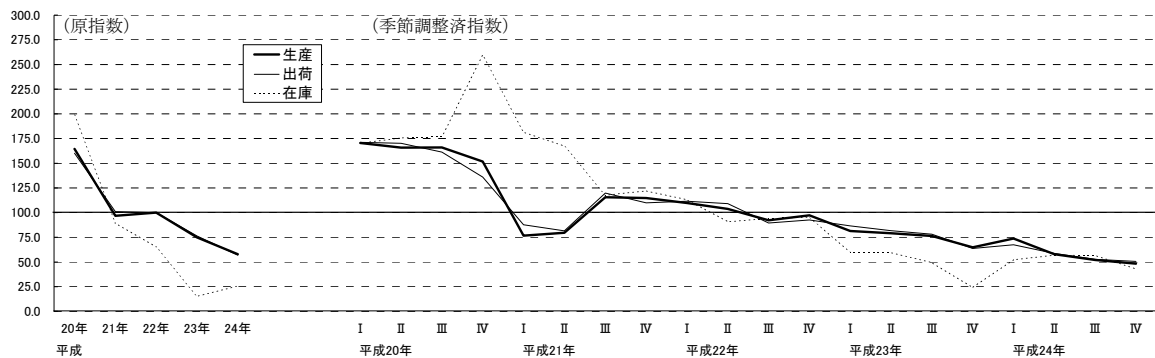


表22 ゴム製品工業の推移 (平成22年平均=100.0)

項目	平成23年	平成24年	平成23年				平成24年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
(生産指数)	74.9	57.9	81.3	79.1	76.3	64.9	73.7	57.9	52.1	48.3
前期比	-	-	△ 16.4	△ 2.7	△ 3.5	△ 14.9	13.6	△ 21.4	△ 10.0	△ 7.3
前年・前年同期比	△ 25.1	△ 22.7	△ 27.4	△ 23.6	△ 16.5	△ 32.7	△ 6.5	△ 25.8	△ 31.3	△ 26.5
(出荷指数)	76.3	56.9	86.5	81.7	78.2	63.7	67.4	58.6	52.6	50.6
前期比	-	-	△ 6.6	△ 5.5	△ 4.3	△ 18.5	5.8	△ 13.1	△ 10.2	△ 3.8
前年・前年同期比	△ 23.7	△ 25.4	△ 23.7	△ 25.3	△ 12.5	△ 32.0	△ 16.4	△ 28.1	△ 34.2	△ 22.1
(在庫指数)	15.3	25.8	59.5	59.5	49.4	24.0	52.4	56.9	56.8	43.0
前期末比	-	-	△ 37.7	0.0	△ 17.0	△ 51.4	118.3	8.6	△ 0.2	△ 24.3
前年・前年同期末比	△ 76.5	68.6	△ 48.5	△ 32.7	△ 45.5	△ 76.5	△ 13.1	△ 2.5	17.9	68.6

注1) 前期比及び前期末比は季節調整済指数、前年・前年同期比及び前年・前年同期末比は原指数で計算している。
2) 年指数は原指数、四半期指数は季節調整済指数である。

(19) 皮革製品工業

生産、出荷はともに低下が続く(前年比△10%超)

図26 皮革製品工業の推移 (平成22年平均=100.0)

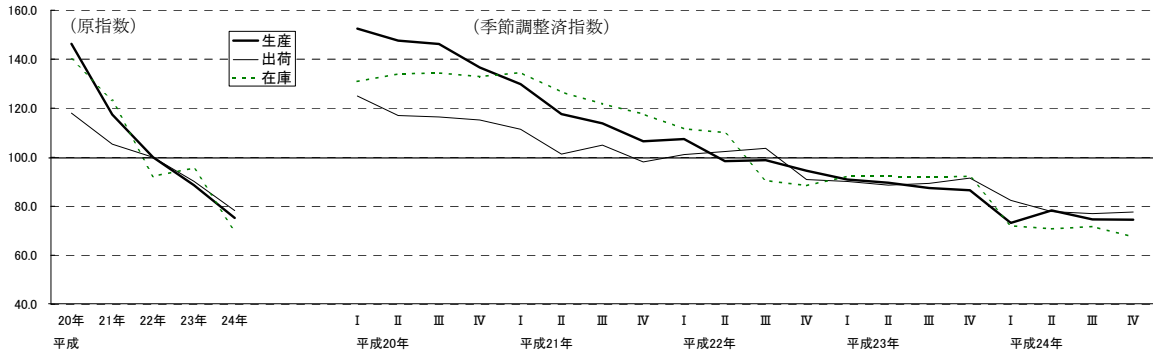


表23 皮革製品工業の推移 (平成22年平均=100.0)

項目	平成23年	平成24年	平成23年				平成24年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
(生産指数)	88.6	75.2	90.9	89.6	87.4	86.5	73.2	78.3	74.6	74.5
前期比	-	-	△ 3.8	△ 1.4	△ 2.5	△ 1.0	△ 15.4	7.0	△ 4.7	△ 0.1
前年・前年同期比	△ 11.4	△ 15.1	△ 15.6	△ 9.1	△ 11.6	△ 8.4	△ 19.0	△ 12.7	△ 15.2	△ 13.2
(出荷指数)	90.2	78.2	90.1	88.6	89.3	91.5	82.4	77.8	77.0	77.6
前期比	-	-	△ 0.9	△ 1.7	0.8	2.5	△ 9.9	△ 5.6	△ 1.0	0.8
前年・前年同期比	△ 9.8	△ 13.3	△ 11.2	△ 13.6	△ 13.3	0.6	△ 11.8	△ 13.4	△ 14.7	△ 14.1
(在庫指数)	95.6	69.8	92.2	92.2	91.9	92.2	72.0	70.8	71.7	67.5
前期末比	-	-	4.3	0.0	△ 0.3	0.3	△ 21.9	△ 1.7	1.3	△ 5.9
前年・前年同期末比	3.7	△ 27.0	△ 17.4	△ 16.5	1.9	3.7	△ 22.2	△ 23.4	△ 21.8	△ 27.0

注1) 前期比及び前期末比は季節調整済指数、前年・前年同期比及び前年・前年同期末比は原指数で計算している。
2) 年指数は原指数、四半期指数は季節調整済指数である。

(20) 家具工業

生産、出荷はともに3年連続の低下

図27 家具工業の推移 (平成22年平均=100.0)

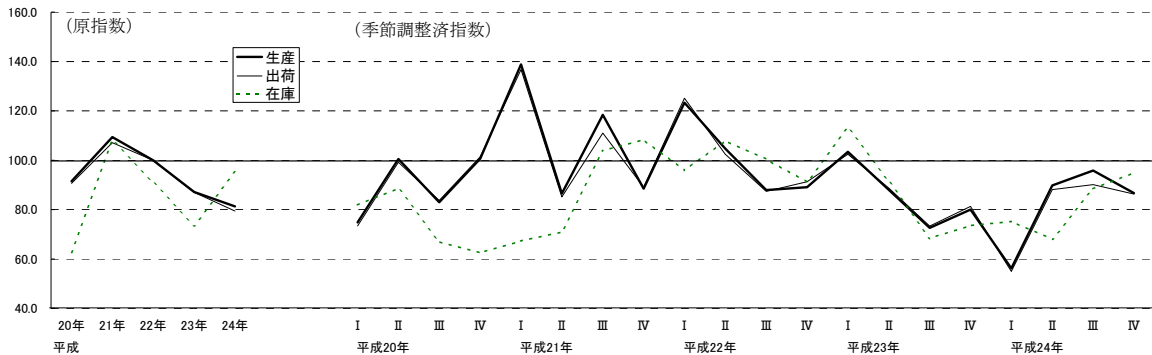


表24 家具工業の推移 (平成22年平均=100.0)

項目	平成23年	平成24年	平成23年				平成24年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
(生産指数)	87.1	81.3	103.4	88.0	72.6	80.0	56.2	89.8	95.8	86.7
前期比	-	-	16.0	△ 14.9	△ 17.5	10.2	△ 29.8	59.8	6.7	△ 9.5
前年・前年同期比	△ 12.9	△ 6.7	△ 15.8	△ 12.2	△ 17.5	△ 2.8	△ 36.7	1.7	40.7	5.6
(出荷指数)	87.0	79.4	102.4	88.7	73.3	81.3	55.0	88.1	90.1	86.3
前期比	-	-	12.2	△ 13.4	△ 17.4	10.9	△ 32.3	60.2	2.3	△ 4.2
前年・前年同期比	△ 13.0	△ 8.7	△ 17.1	△ 8.9	△ 15.8	△ 4.6	△ 36.8	△ 0.5	32.1	4.4
(在庫指数)	73.5	95.2	113.2	91.5	68.3	73.5	75.2	68.0	88.4	94.9
前期末比	-	-	24.1	△ 19.2	△ 25.4	7.6	2.3	△ 9.6	30.0	7.4
前年・前年同期末比	△ 19.2	29.5	18.3	△ 16.1	△ 31.1	△ 19.2	△ 33.5	△ 26.5	29.9	29.5

注1) 前期比及び前期末比は季節調整済指数、前年・前年同期比及び前年・前年同期末比は原指数で計算している。
2) 年指数は原指数、四半期指数は季節調整済指数である。

(21) 木材・木製品工業 生産、出荷はともに2年連続の上昇

図28 木材・木製品工業の推移 (平成22年平均=100.0)

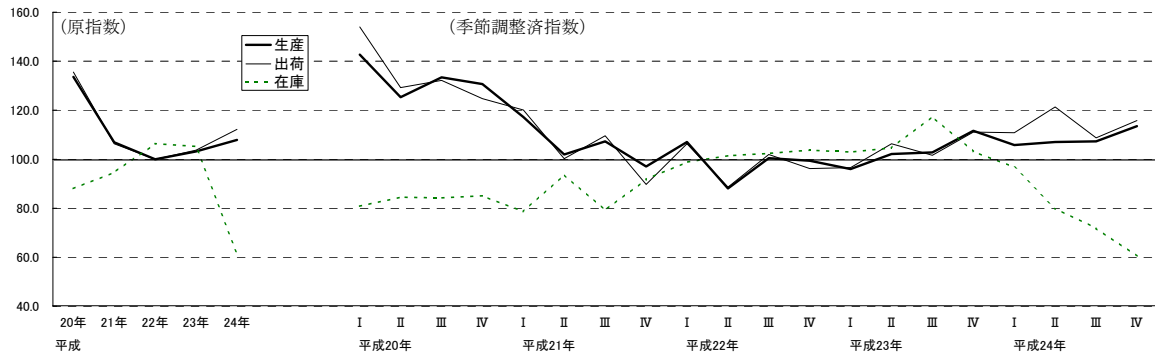


表25 木材・木製品工業の推移 (平成22年平均=100.0)

項目	平成23年	平成24年	平成23年				平成24年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
(生産指数)	103.2	107.9	96.0	102.1	102.8	111.6	105.8	107.0	107.3	113.5
前期比	-	-	△ 3.4	6.4	0.7	8.6	△ 5.2	1.1	0.3	5.8
前年・前年同期比	3.2	4.6	△ 11.2	14.1	2.5	11.6	9.3	3.1	3.2	2.7
(出荷指数)	103.7	112.2	96.6	106.3	101.6	111.1	110.8	121.3	108.7	115.8
前期比	-	-	0.4	10.0	△ 4.4	9.4	△ 0.3	9.5	△ 10.4	6.5
前年・前年同期比	3.7	8.2	△ 9.7	18.0	△ 0.6	14.0	12.0	10.5	6.6	4.8
(在庫指数)	105.2	61.4	102.9	104.6	117.4	103.2	96.7	79.9	71.8	60.5
前期末比	-	-	△ 0.8	1.7	12.2	△ 12.1	△ 6.3	△ 17.4	△ 10.1	△ 15.7
前年・前年同期末比	△ 1.1	△ 41.6	5.6	2.9	15.4	△ 1.1	△ 5.3	△ 23.7	△ 38.4	△ 41.6

注1) 前期比及び前期末比は季節調整済指数、前年・前年同期比及び前年・前年同期末比は原指数で計算している。
 2) 年指数は原指数、四半期指数は季節調整済指数である。

(22) その他製品工業 生産、出荷はともに3年ぶりに低下

図29 その他製品工業の推移 (平成22年平均=100.0)

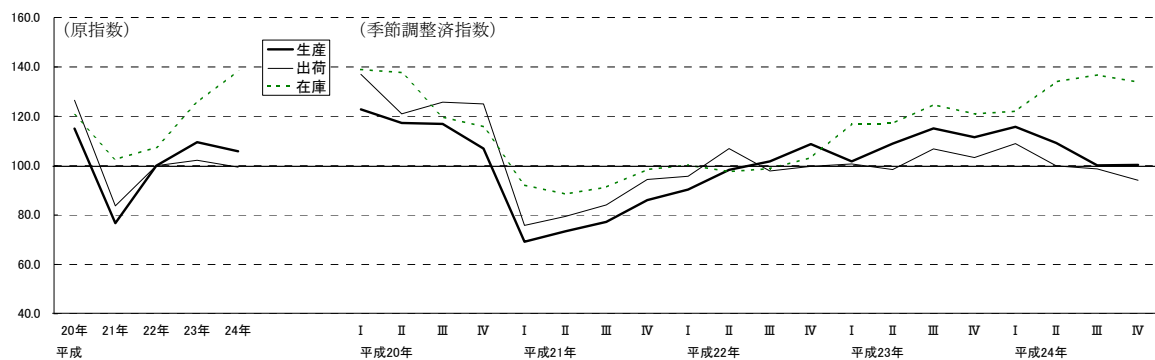


表26 その他製品工業の推移 (平成22年平均=100.0)

項目	平成23年	平成24年	平成23年				平成24年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
(生産指数)	109.5	105.8	101.7	108.9	115.1	111.5	115.7	109.2	100.1	100.3
前期比	-	-	△ 6.4	7.1	5.7	△ 3.1	3.8	△ 5.6	△ 8.3	0.2
前年・前年同期比	9.5	△ 3.4	13.4	11.6	13.2	1.6	11.6	0.6	△ 12.8	△ 9.9
(出荷指数)	102.2	99.4	100.7	98.4	106.8	103.3	108.9	99.9	98.7	94.1
前期比	-	-	1.0	△ 2.3	8.5	△ 3.3	5.4	△ 8.3	△ 1.2	△ 4.7
前年・前年同期比	2.2	△ 2.7	6.2	△ 7.1	9.4	1.4	5.7	1.9	△ 8.2	△ 9.0
(在庫指数)	125.6	138.5	116.9	117.1	124.7	121.0	122.0	134.0	136.7	133.8
前期末比	-	-	13.3	0.2	6.5	△ 3.0	0.8	9.8	2.0	△ 2.1
前年・前年同期末比	16.9	10.3	16.7	19.9	26.5	16.9	4.6	14.6	10.0	10.3

注1) 前期比及び前期末比は季節調整済指数、前年・前年同期比及び前年・前年同期末比は原指数で計算している。
 2) 年指数は原指数、四半期指数は季節調整済指数である。

3 特殊分類別の動向

(1) 資本財 生産、出荷はともに2年ぶりに上昇

図30 資本財の推移 (平成22年平均=100.0)

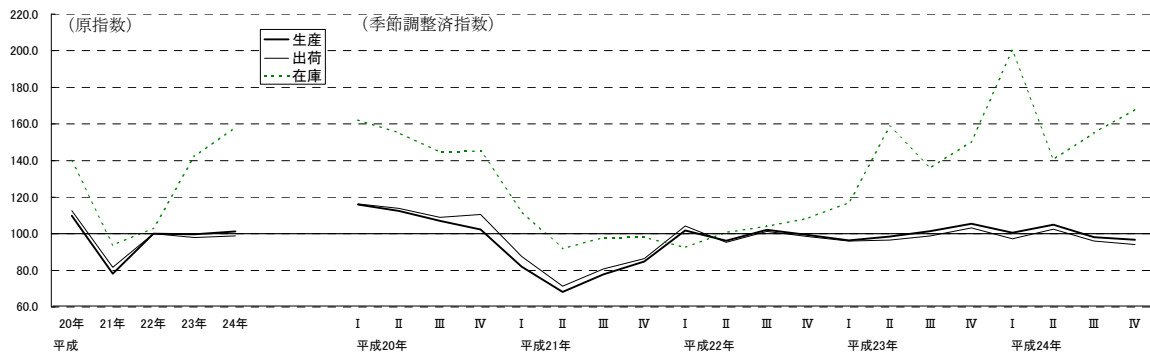


表27 資本財の推移 (平成22年平均=100.0)

項目	平成23年	平成24年	平成23年				平成24年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
(生産指数)	99.7	101.2	96.3	98.4	101.5	105.4	100.5	105.0	98.1	96.7
前期比	-	-	△ 3.1	2.2	3.2	3.8	△ 4.6	4.5	△ 6.6	△ 1.4
前年・前年同期比	△ 0.3	1.5	△ 6.5	2.5	△ 1.5	6.5	7.4	7.6	△ 2.4	△ 6.6
(出荷指数)	98.0	98.8	96.1	96.5	98.9	103.2	97.2	102.5	96.0	94.1
前期比	-	-	△ 2.3	0.4	2.5	4.3	△ 5.8	5.5	△ 6.3	△ 2.0
前年・前年同期比	△ 2.0	0.8	△ 8.5	1.2	△ 3.0	5.1	4.6	7.6	△ 1.5	△ 7.1
(在庫指数)	142.1	158.3	117.0	158.4	136.0	150.4	200.2	140.6	155.2	167.9
前期末比	-	-	7.9	35.4	△ 14.1	10.6	33.1	△ 29.8	10.4	8.2
前年・前年同期末比	38.0	11.4	26.5	57.1	29.5	38.0	71.1	△ 11.2	13.2	11.4

注1) 前期比及び前期末比は季節調整済指数、前年・前年同期比及び前年・前年同期末比は原指数で計算している。
 2) 年指数は原指数、四半期指数は季節調整済指数である。

(2) 建設財 生産、出荷はともに3年連続の上昇

図31 建設財の推移 (平成22年平均=100.0)

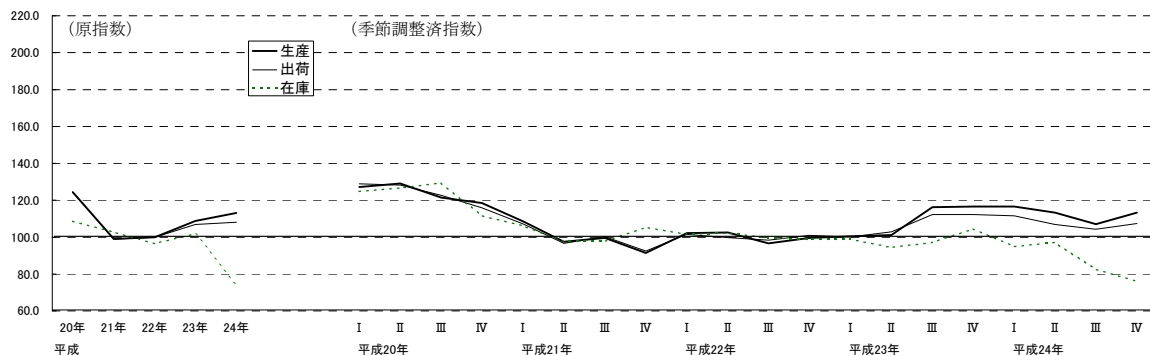


表28 建設財の推移 (平成22年平均=100.0)

項目	平成23年	平成24年	平成23年				平成24年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
(生産指数)	108.7	113.1	100.4	101.2	116.3	116.6	116.6	113.2	107.0	113.2
前期比	-	-	0.8	0.8	14.9	0.3	0.0	△ 2.9	△ 5.5	5.8
前年・前年同期比	8.7	4.0	△ 1.5	△ 1.0	20.3	16.3	18.9	11.4	△ 8.4	△ 1.9
(出荷指数)	106.9	108.1	100.1	102.8	112.3	112.3	111.6	106.9	104.2	107.4
前期比	-	-	△ 0.9	2.7	9.2	0.0	△ 0.6	△ 4.2	△ 2.5	3.1
前年・前年同期比	6.9	1.1	△ 1.0	3.2	14.2	10.7	14.0	4.0	△ 7.7	△ 3.5
(在庫指数)	101.8	74.0	98.8	94.4	97.2	104.4	94.8	97.1	82.5	76.0
前期末比	-	-	0.0	△ 4.5	3.0	7.4	△ 9.2	2.4	△ 15.0	△ 7.9
前年・前年同期末比	5.5	△ 27.3	△ 2.1	△ 7.3	△ 3.0	5.5	△ 3.7	2.8	△ 15.6	△ 27.3

注1) 前期比及び前期末比は季節調整済指数、前年・前年同期比及び前年・前年同期末比は原指数で計算している。
 2) 年指数は原指数、四半期指数は季節調整済指数である。

(3) 耐久消費財

生産、出荷はともに2年ぶりに上昇(前年比10%超)

図32 耐久消費財の推移 (平成22年平均=100.0)

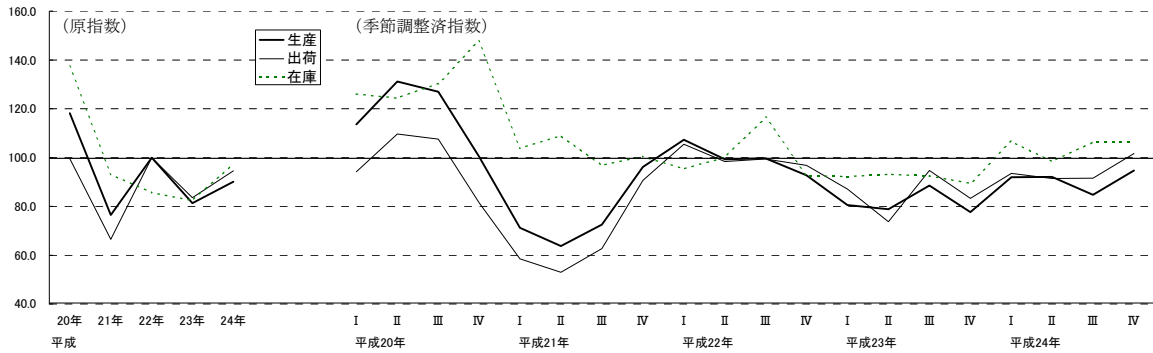


表29 耐久消費財の推移 (平成22年平均=100.0)

項目	平成23年	平成24年	平成23年				平成24年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
(生産指数)	81.3	90.1	80.5	78.8	88.5	77.6	92.0	92.1	84.7	94.7
前期比	-	-	△ 13.2	△ 2.1	12.3	△ 12.3	18.6	0.1	△ 8.0	11.8
前年・前年同期比	△ 18.7	10.8	△ 25.3	△ 20.3	△ 11.7	△ 16.8	17.5	14.1	△ 6.0	19.8
(出荷指数)	83.6	94.5	87.1	73.7	94.7	83.3	93.5	91.4	91.6	101.6
前期比	-	-	△ 10.0	△ 15.4	28.5	△ 12.0	12.2	△ 2.2	0.2	10.9
前年・前年同期比	△ 16.4	13.0	△ 19.6	△ 25.3	△ 5.1	△ 15.5	18.9	21.5	△ 5.5	20.7
(在庫指数)	82.4	97.6	92.2	93.1	92.5	89.5	106.6	98.3	106.4	106.4
前期末比	-	-	△ 0.4	1.0	△ 0.6	△ 3.2	19.1	△ 7.8	8.2	0.0
前年・前年同期末比	△ 3.9	18.4	△ 3.0	△ 7.6	△ 19.9	△ 3.9	15.9	5.1	15.6	18.4

注1) 前期比及び前期末比は季節調整済指数、前年・前年同期比及び前年・前年同期末比は原指数で計算している。
 2) 年指数は原指数、四半期指数は季節調整済指数である。

(4) 非耐久消費財

生産は上昇に転じ、出荷は2年連続の上昇

図33 非耐久消費財の推移 (平成22年平均=100.0)

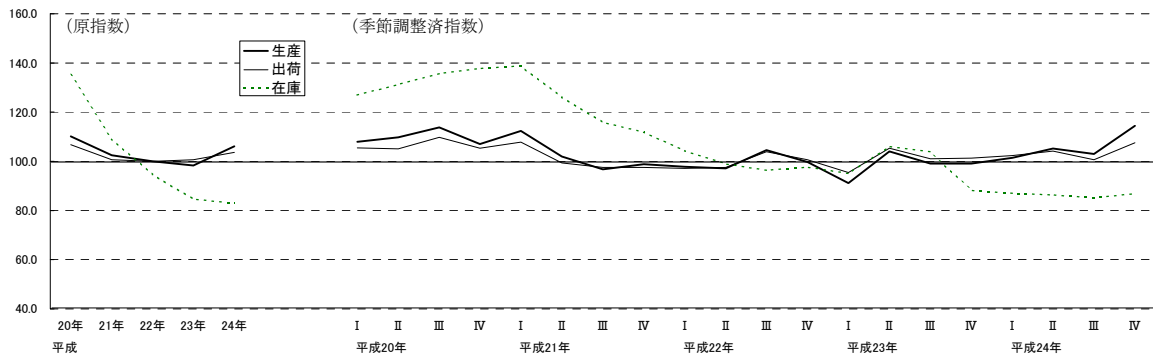


表30 非耐久消費財の推移 (平成22年平均=100.0)

項目	平成23年	平成24年	平成23年				平成24年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
(生産指数)	98.3	106.1	91.1	104.0	99.1	99.1	101.4	105.2	103.0	114.5
前期比	-	-	△ 8.6	14.2	△ 4.7	0.0	2.3	3.7	△ 2.1	11.2
前年・前年同期比	△ 1.7	7.9	△ 7.6	7.1	△ 5.5	△ 0.9	11.9	1.6	3.0	15.7
(出荷指数)	100.6	103.6	95.4	105.3	101.0	101.3	102.3	104.1	100.6	107.6
前期比	-	-	△ 5.2	10.4	△ 4.1	0.3	1.0	1.8	△ 3.4	7.0
前年・前年同期比	0.6	3.0	△ 2.6	7.8	△ 2.9	0.3	7.4	△ 0.6	△ 1.2	6.6
(在庫指数)	84.7	83.0	95.1	106.0	103.9	88.2	87.0	86.3	85.1	86.8
前期末比	-	-	△ 2.7	11.5	△ 2.0	△ 15.1	△ 1.4	△ 0.8	△ 1.4	2.0
前年・前年同期末比	△ 10.5	△ 2.0	△ 10.0	7.5	7.9	△ 10.5	△ 9.3	△ 18.3	△ 17.9	△ 2.0

注1) 前期比及び前期末比は季節調整済指数、前年・前年同期比及び前年・前年同期末比は原指数で計算している。
 2) 年指数は原指数、四半期指数は季節調整済指数である。

(5) 鉱工業用生産財 生産、出荷はともに2年ぶりに上昇

図34 鉱工業用生産財の推移 (平成22年平均=100.0)

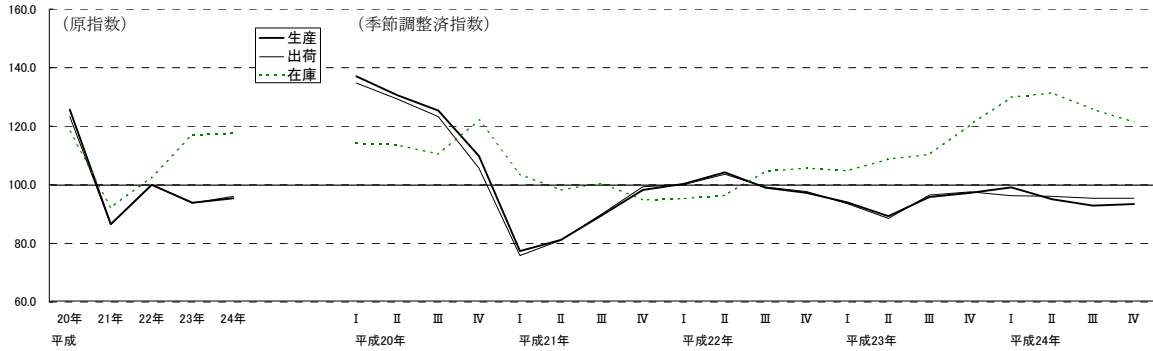


表31 鉱工業用生産財の推移 (平成22年平均=100.0)

項目	平成23年	平成24年	平成23年				平成24年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
(生産指数)	93.9	95.4	94.0	89.3	95.8	97.3	99.1	95.1	92.9	93.4
前期比	-	-	△ 3.4	△ 5.0	7.3	1.6	1.8	△ 4.0	△ 2.3	0.5
前年・前年同期比	△ 6.1	1.6	△ 6.1	△ 14.4	△ 3.3	△ 0.3	6.6	6.9	△ 3.2	△ 3.0
(出荷指数)	93.8	96.1	93.5	88.5	96.5	97.6	96.3	96.1	95.4	95.4
前期比	-	-	△ 4.3	△ 5.3	9.0	1.1	△ 1.3	△ 0.2	△ 0.7	0.0
前年・前年同期比	△ 6.2	2.5	△ 6.6	△ 14.6	△ 2.7	△ 0.7	4.4	8.8	△ 1.3	△ 1.1
(在庫指数)	117.0	117.6	104.8	108.7	110.4	120.5	129.9	131.4	125.8	121.4
前期末比	-	-	△ 0.9	3.7	1.6	9.1	7.8	1.2	△ 4.3	△ 3.5
前年・前年同期末比	13.9	0.5	10.2	13.3	5.4	13.9	24.4	21.1	13.8	0.5

注1) 前期比及び前期末比は季節調整済指数、前年・前年同期比及び前年・前年同期末比は原指数で計算している。
 2) 年指数は原指数、四半期指数は季節調整済指数である。

(6) その他用生産財 生産、出荷はともに2年ぶりに上昇

図35 その他用生産財の推移 (平成22年平均=100.0)

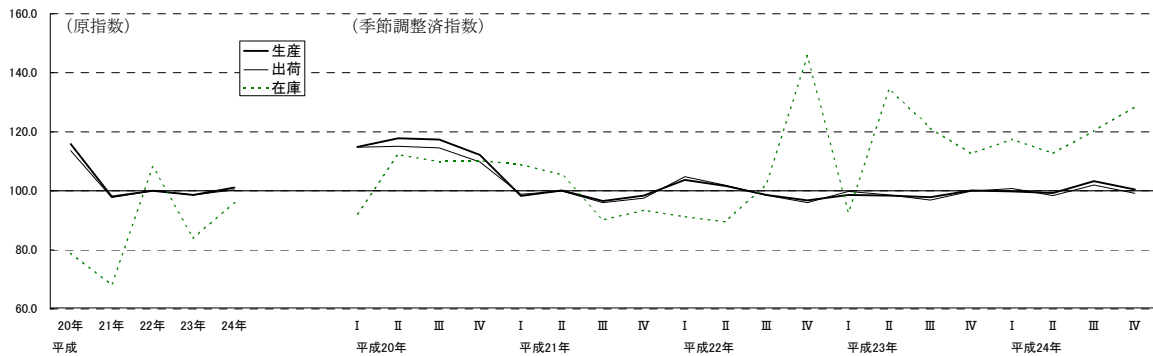


表32 その他用生産財の推移 (平成22年平均=100.0)

項目	平成23年	平成24年	平成23年				平成24年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
(生産指数)	98.6	101.1	98.6	98.4	97.9	100.1	99.8	99.3	103.3	100.5
前期比	-	-	1.9	△ 0.2	△ 0.5	2.2	△ 0.3	△ 0.5	4.0	△ 2.7
前年・前年同期比	△ 1.4	2.5	△ 4.4	△ 3.5	△ 0.5	3.0	2.6	1.0	5.5	0.9
(出荷指数)	98.6	100.4	99.8	98.6	96.9	99.9	100.8	98.4	102.0	99.2
前期比	-	-	4.0	△ 1.2	△ 1.7	3.1	0.9	△ 2.4	3.7	△ 2.7
前年・前年同期比	△ 1.4	1.8	△ 4.1	△ 3.4	△ 1.4	3.6	2.0	△ 0.1	5.6	△ 0.3
(在庫指数)	84.0	96.1	92.7	134.5	121.3	112.6	117.5	112.7	120.3	128.5
前期末比	-	-	△ 36.3	45.1	△ 9.8	△ 7.2	4.4	△ 4.1	6.7	6.8
前年・前年同期末比	△ 22.2	14.4	1.4	50.3	18.0	△ 22.2	26.1	△ 16.6	△ 0.7	14.4

注1) 前期比及び前期末比は季節調整済指数、前年・前年同期比及び前年・前年同期末比は原指数で計算している。
 2) 年指数は原指数、四半期指数は季節調整済指数である。

4 東京都と全国の動向

(1) 工業指数の年、四半期別推移

ア 生産指数

生産指数（原指数）は、東京都が前年比 3.4%、全国が前年比 0.6%と、ともに上昇となった。

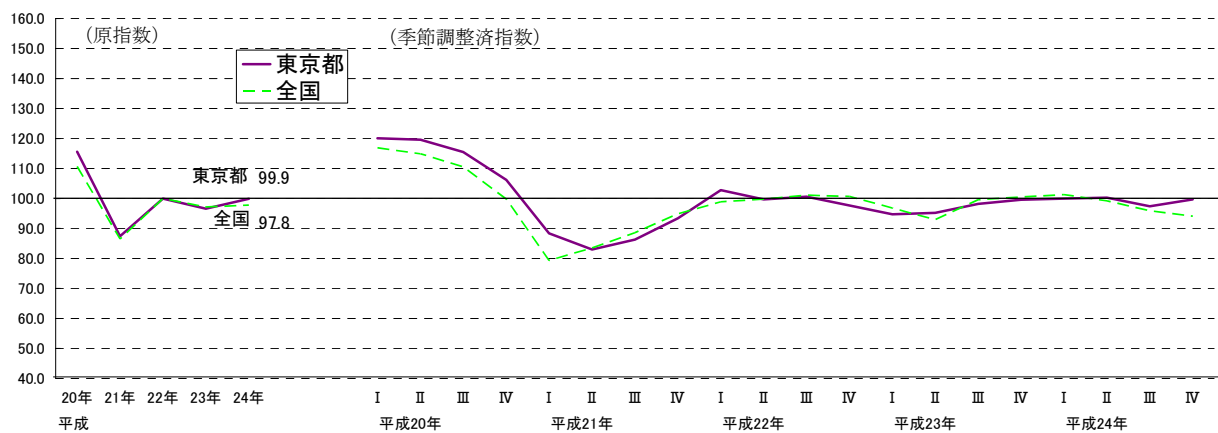
寄与度でみると、東京都で上昇に最も寄与したのは輸送機械工業（3.8%）で、2番目に大きかったのは情報通信機械工業（1.2%）であった。

一方、全国で上昇に最も寄与したのは輸送機械工業（2.3%）であり、2番目に大きかったのは非鉄金属工業他3業種（いずれも0.1%）であった。

四半期別指数（季節調整済指数）は、東京都では、第2四半期まで上昇し、第3四半期に低下、第4四半期に再び上昇となった。全国では第1四半期以降低下で推移した。

(図 36、表 33)

図 36 東京都と全国の生産指数の推移(平成 22 年平均=100.0)



注) 製造工業の指数である。

表33 東京都と全国の生産の業種別寄与度

(単位 %)

区 分 業 種	平成23年		平成24年		区 分 業 種	平成23年		平成24年	
	東 京 都	全 国	東 京 都	全 国		東 京 都	全 国	東 京 都	全 国
製 造 工 業	△ 3.4	△ 2.8	3.4	0.6	化 学 工 業	△ 0.1	△ 0.2	0.7	△ 0.3
鉄 鋼 業	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.0	0.0	石 油 ・ 石 炭 製 品 工 業	-	△ 0.1	-	△ 0.0
非 鉄 金 属 工 業	△ 0.2	△ 0.1	△ 0.1	0.1	プ ラ ス チ ッ ク 製 品 工 業	△ 0.2	△ 0.1	0.3	0.1
金 属 製 品 工 業	△ 0.0	△ 0.1	△ 0.1	0.1	紙 ・ 紙 加 工 品 工 業	0.0	△ 0.0	△ 0.1	△ 0.0
は ん 用 機 械 工 業	0.2	0.4	0.1	△ 0.3	織 維 工 業	0.1	0.1	0.0	△ 0.0
生 産 用 機 械 工 業	0.6	1.1	△ 1.4	△ 0.4	食 料 品 工 業	△ 0.2	△ 0.3	0.7	0.1
業 務 用 機 械 工 業	△ 0.2	0.2	△ 0.4	△ 0.0	印 刷 業	△ 0.3	△ 0.1	0.3	0.0
電 子 部 品 ・ デ バ イ ス 工 業	△ 0.6	△ 0.8	△ 0.0	△ 0.3	ゴ ム 製 品 工 業	△ 0.6	△ 0.0	△ 0.4	△ 0.0
電 気 機 械 工 業	△ 0.6	△ 0.0	△ 0.9	△ 0.1	皮 革 製 品 工 業	△ 0.1	△ 0.0	△ 0.1	△ 0.0
情 報 通 信 機 械 工 業	△ 1.2	△ 0.8	1.2	△ 0.2	家 具 工 業	△ 0.2	0.0	△ 0.1	0.0
輸 送 機 械 工 業	△ 0.0	△ 1.8	3.8	2.3	木 材 ・ 木 製 品 工 業	0.0	0.0	0.0	△ 0.0
窯 業 ・ 土 石 製 品 工 業	0.1	△ 0.1	△ 0.0	0.0	そ の 他 製 品 工 業	0.2	0.0	△ 0.1	0.0

注1) 石油・石炭製品工業は東京都では採用していない。

2) 全国の輸送機械工業は、東京都との比較のため「輸送機械工業（除、船舶・同機関、鉄道車両、航空機）」の指数を使用している。このため、全国の製造工業の数値と各業種ごとの合計とは一致しない場合がある。

イ 出荷指数

出荷指数（原指数）は、東京都が前年比 2.8%、全国が前年比 1.4%と、ともに上昇となった。

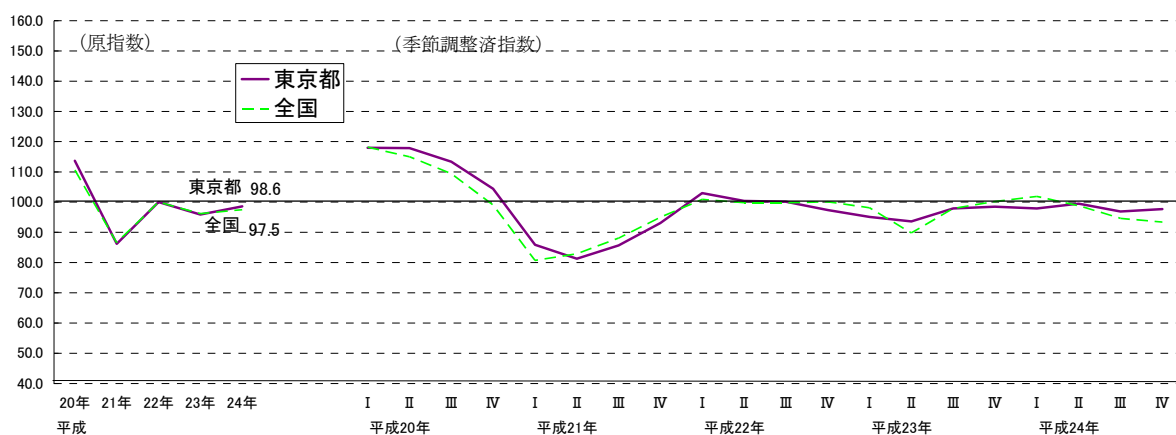
寄与度でみると、東京都で上昇に最も寄与したのは輸送機械工業（4.0%）で、2番目に大きかったのは情報通信機械工業（1.4%）であった。

一方、全国で上昇に最も寄与したのは輸送機械工業（2.7%）であり、2番目に大きかったのは非鉄金属工業他2業種（いずれも0.1%）であった。

四半期別指数（季節調整済指数）は、東京都では、第2四半期に上昇、第3四半期に低下、第4四半期に再び上昇となったのに対して、全国では、第1四半期以降低下で推移した。

(図 37、表 34)

図 37 東京都と全国の出荷指数の推移(平成 22 年平均=100.0)



注) 製造工業の指数である。

表34 東京都と全国の出荷の業種別寄与度

(単位 %)

区 分 業 種	平成23年		平成24年		区 分 業 種	平成23年		平成24年	
	東 京 都	全 国	東 京 都	全 国		東 京 都	全 国	東 京 都	全 国
製 造 工 業	△ 4.1	△ 3.8	2.8	1.4	化 学 工 業	△ 0.0	△ 0.4	0.3	△ 0.2
鉄 鋼 業	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.0	0.0	石 油 ・ 石 炭 製 品 工 業	-	△ 0.2	-	0.0
非 鉄 金 属 工 業	△ 0.2	△ 0.2	△ 0.1	0.1	プ ラ ス チ ッ ク 製 品 工 業	△ 0.2	△ 0.2	0.2	0.1
金 属 製 品 工 業	△ 0.0	△ 0.1	△ 0.1	0.0	紙 ・ 紙 加 工 品 工 業	0.0	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.0
は ん 用 機 械 工 業	0.1	0.2	0.0	△ 0.2	織 維 工 業	0.0	△ 0.0	0.1	△ 0.0
生 産 用 機 械 工 業	0.5	0.9	△ 1.4	△ 0.3	食 料 品 工 業	0.0	△ 0.3	0.3	0.1
業 務 用 機 械 工 業	△ 0.1	0.0	△ 0.4	0.0	印 刷 業	△ 0.3	△ 0.0	0.4	0.0
電 子 部 品 ・ デ バ イ ス 工 業	△ 0.7	△ 0.4	△ 0.1	△ 0.1	ゴ ム 製 品 工 業	△ 0.4	△ 0.0	△ 0.3	0.0
電 気 機 械 工 業	△ 0.3	△ 0.1	△ 1.0	△ 0.0	皮 革 製 品 工 業	△ 0.1	△ 0.0	△ 0.1	△ 0.0
情 報 通 信 機 械 工 業	△ 1.5	△ 0.7	1.4	△ 0.8	家 具 工 業	△ 0.2	0.0	△ 0.1	0.0
輸 送 機 械 工 業	△ 0.9	△ 2.1	4.0	2.7	木 材 ・ 木 製 品 工 業	0.0	△ 0.0	0.0	△ 0.0
窯 業 ・ 土 石 製 品 工 業	0.1	△ 0.1	△ 0.0	0.0	そ の 他 製 品 工 業	0.1	△ 0.0	△ 0.1	△ 0.0

注1) 石油・石炭製品工業は東京都では採用していない。

2) 全国の輸送機械工業は、東京都との比較のため「輸送機械工業（除、船舶・同機関、鉄道車両、航空機）」の指数を使用している。このため、全国の製造工業の数値と各業種ごとの合計とは一致しない場合がある。

ウ 在庫指数

在庫指数（原指数）は、東京都が前年末比 9.4%、全国では前年末比 5.2%と、ともに上昇となった。

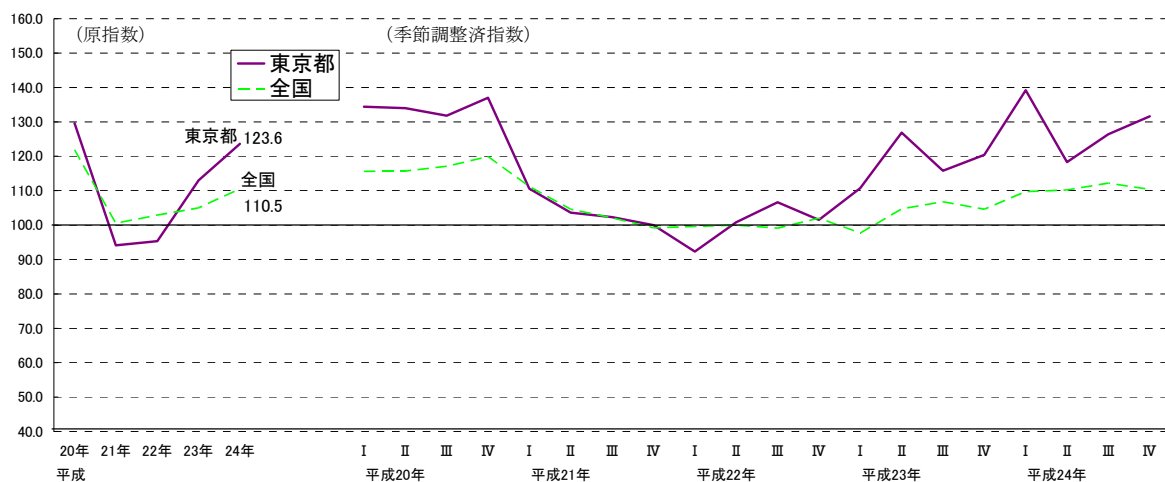
寄与度でみると、東京都で上昇に最も寄与したのは情報通信機械工業（8.8%）で、2番目に大きかったのは輸送機械工業（3.6%）であった。

一方、全国で上昇に最も寄与したのは輸送機械工業（3.2%）で、2番目に大きかったのは生産用機械工業（1.3%）であった。

四半期別指数（季節調整済指数）は、東京都では第2四半期に低下した後、第3四半期以降は上昇となった。全国では、第3四半期まで上昇、第4四半期に低下となった。

（図 38、表 35）

図 38 東京都と全国の在庫指数の推移(平成 22 年平均=100.0)



注) 製造工業の指数である。

表35 東京都と全国の在庫の業種別寄与度

(単位 %)

区 分 業 種	平成23年		平成24年		区 分 業 種	平成23年		平成24年	
	東 京 都	全 国	東 京 都	全 国		東 京 都	全 国	東 京 都	全 国
製 造 工 業	18.6	2.0	9.4	5.2	化 学 工 業	△ 0.2	1.1	1.3	△ 0.1
鉄 鋼 業	△ 0.3	1.0	△ 0.2	△ 0.5	石 油 ・ 石 炭 製 品 工 業	-	△ 0.3	-	△ 0.0
非 鉄 金 属 工 業	0.4	0.3	0.3	0.0	プ ラ ス チ ッ ク 製 品 工 業	0.6	0.3	△ 1.0	△ 0.0
金 属 製 品 工 業	△ 1.5	0.2	0.1	0.6	紙 ・ 紙 加 工 品 工 業	0.0	△ 0.1	0.0	0.3
は ん 用 機 械 工 業	0.1	0.4	△ 0.4	△ 0.1	織 維 工 業	2.5	0.2	△ 0.6	0.2
生 産 用 機 械 工 業	8.0	1.0	△ 5.6	1.3	食 料 品 工 業	△ 0.3	△ 0.6	0.2	0.3
業 務 用 機 械 工 業	3.5	0.4	3.4	△ 0.1	印 刷 業	-	-	-	-
電 子 部 品 ・ デ バ イ ス 工 業	1.4	△ 0.1	△ 0.5	△ 0.2	ゴ ム 製 品 工 業	△ 2.3	△ 0.1	0.4	△ 0.0
電 気 機 械 工 業	△ 0.2	1.0	△ 0.0	0.5	皮 革 製 品 工 業	0.1	0.0	△ 0.6	△ 0.0
情 報 通 信 機 械 工 業	4.3	△ 0.4	8.8	0.2	家 具 工 業	△ 0.2	0.1	0.2	0.0
輸 送 機 械 工 業	1.7	△ 3.2	3.6	3.2	木 材 ・ 木 製 品 工 業	△ 0.0	△ 0.0	△ 0.1	0.1
窯 業 ・ 土 石 製 品 工 業	0.1	0.6	△ 0.2	△ 0.2	そ の 他 製 品 工 業	0.8	0.0	0.5	0.0

注1) 石油・石炭製品工業は東京都では採用していない。
 2) 全国の輸送機械工業は、東京都との比較のため「輸送機械工業（除. 船舶・同機関、鉄道車両、航空機）」の指数を使用している。このため、全国の製造工業の数値と各業種ごとの合計とは一致しない場合がある。

(2) 工業指数(季節調整済指数)の月別推移(平成17年から平成24年まで)

ア 生産指数

東京都の生産指数は、平成17年12月に最も高い127.5を示した後、平成20年12月から急激な低下が始まり、平成21年4月に平成17年1月以来最も低い81.8となった。その後、平成22年3月の104.2をピークに、低下、上昇を繰り返した。平成23年3月には大幅に低下し88.0となったが、以後、100.0前後で推移した。

全国では、平成19年10月に最も高い117.5を示した後、平成20年11月から急激な低下が始まり、平成21年2月には平成17年1月以来最も低い76.6となった。その後、100.0を超えるまで上昇したが、平成23年3月には大幅に低下し85.8となった。以後、再び100.0前後まで上昇したが、平成24年5月以降は90台で推移した。

(図39、表36)

イ 出荷指数

東京都の出荷指数は、平成17年1月に最も高い122.2を示した後、平成20年12月から急激な低下が始まり、平成21年4月には平成17年1月以来最も低い79.5となった。その後、平成22年3月の104.5まで上昇した後、100.0前後で推移したが、平成23年3月には大幅な低下となり88.0となった。以後、上昇し、概ね90台で推移した。

全国では、平成19年12月と翌1月に最も高い118.3を示した後、平成20年11月から急激な低下が始まり、平成21年2月には平成17年1月以来最も低い79.1となった。その後、100.0を超えるまで上昇したが、平成23年3月には大幅に低下し88.0となり、翌4月には84.2まで低下した。以後、再び100.0前後まで上昇したが、平成24年5月以降は90台で推移した。

(図40、表36)

ウ 在庫指数

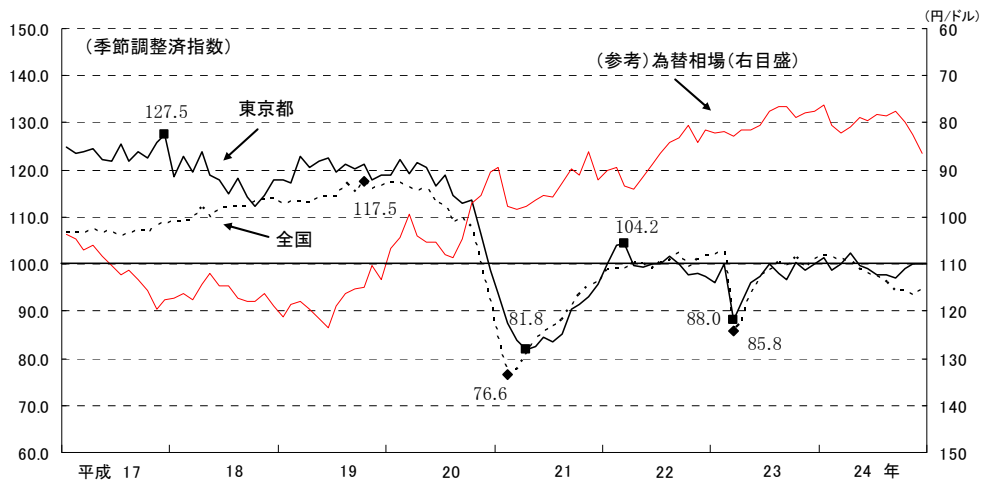
東京都の在庫指数は、平成19年7月に最も高い140.4を示し、その後、概ね130台で推移した。平成22年3月には平成17年1月以来最も低い92.3となり、以降、上昇、低下を繰り返しながら上昇傾向で推移した。

全国では、平成20年12月に最も高い119.9を示した後、低下し、100.0前後で推移した。その後、平成23年3月には平成17年1月以来最も低い97.7まで低下したが、以後、上昇傾向となり、平成24年4月以降は110台で推移した。

(図41、表36)

注 製造業に影響を及ぼす要因の一つとして考えられる為替相場の推移を、参考として示した。

図 39 東京都と全国の生産指数の推移 (平成 22 年平均=100.0)



以下の脚注は図 40 及び図 41 も同様である。

注 1) 指数は季節調整指数である。

2) 全国は製造工業の指数である。

参考：為替相場は日本銀行の「東京市場 (ドル・円スポット 17 時時点/月末)」

米国投資銀行リーマン・ブラザーズ破綻 (平成 20 年 9 月 15 日)

東日本大震災 (平成 23 年 3 月 11 日)

図 40 東京都と全国の出荷指数の推移 (平成 22 年平均=100.0)

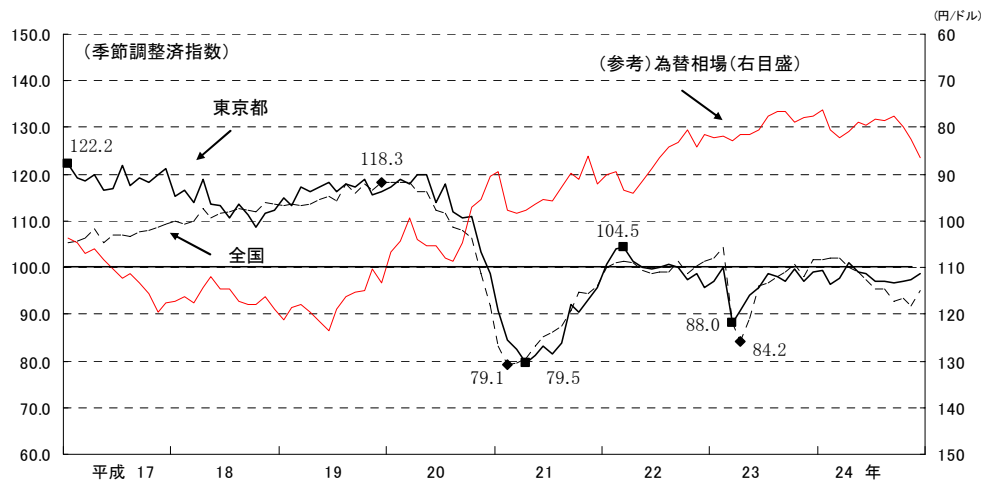


図 41 東京都と全国の在庫指数の推移 (平成 22 年平均=100.0)

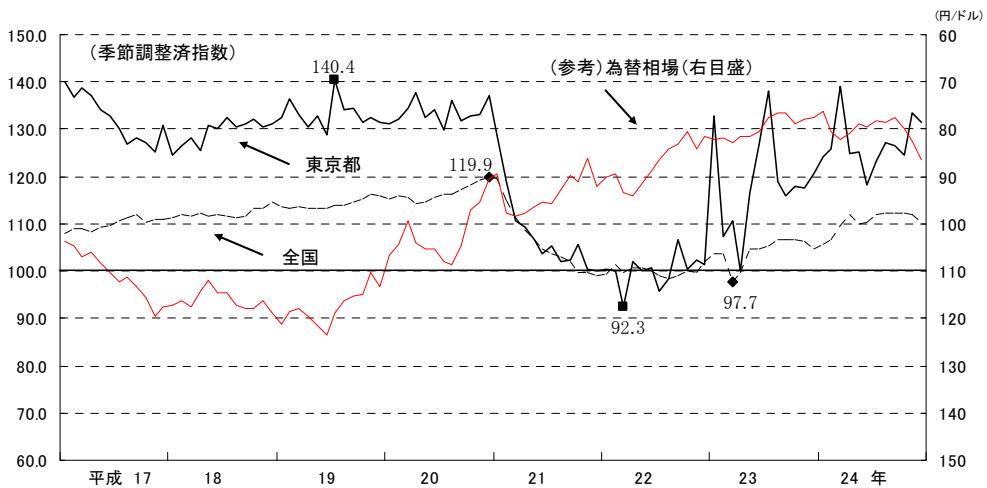


表36 工業指数の月別推移

年 月	製造工業						為替相場 (日銀)	年 月	製造工業						為替相場 (日銀)
	生産指数		出荷指数		在庫指数				生産指数		出荷指数		在庫指数		
	東京都	全国	東京都	全国	東京都	全国			東京都	全国	東京都	全国	東京都	全国	
平成	(円/ドル)							平成	(円/ドル)						
17年 1月	124.8	106.6	122.2	105.3	140.1	107.9	103.6	22年 1月	100.2	98.6	100.6	100.2	100.5	99.5	90.2
2月	123.5	106.5	119.1	105.5	136.9	108.9	104.6	2月	103.9	98.9	103.9	101.1	100.0	101.2	89.3
3月	123.7	106.7	118.7	106.2	138.7	109.0	107.0	3月	104.2	99.1	104.5	101.3	92.3	99.6	93.3
4月	124.6	107.4	119.9	108.4	137.1	108.3	105.9	4月	99.8	100.3	101.3	101.0	102.0	100.7	94.2
5月	122.3	106.6	116.6	105.4	134.1	109.4	108.2	5月	99.3	100.0	100.0	99.5	100.0	100.8	91.5
6月	121.8	107.0	117.0	107.0	132.8	109.7	110.4	6月	100.1	99.2	99.8	98.8	100.8	100.0	88.7
7月	125.6	106.1	121.9	107.1	130.3	110.5	112.2	7月	100.0	100.3	99.9	99.2	95.8	99.2	86.4
8月	121.9	106.2	117.7	106.8	127.0	111.3	111.4	8月	101.6	100.7	100.6	99.0	98.5	98.3	84.2
9月	123.9	107.2	119.2	107.6	128.3	111.8	113.3	9月	100.1	102.3	99.9	101.3	106.6	99.1	83.3
10月	122.6	106.6	118.2	107.9	127.3	110.2	115.7	10月	97.7	99.4	97.5	98.8	100.4	100.0	80.7
11月	125.9	108.4	119.9	108.6	125.2	110.8	119.5	11月	98.2	101.0	98.8	100.4	102.3	99.7	84.0
12月	127.5	108.7	121.1	109.2	130.9	110.9	117.5	12月	97.3	101.6	95.8	101.2	101.5	102.0	81.5
18年 1月	118.5	109.0	115.4	109.9	124.4	111.3	117.2	23年 1月	96.0	102.0	97.2	102.1	132.7	103.8	82.0
2月	122.8	108.9	116.6	109.2	126.6	111.8	116.4	2月	100.0	102.7	100.0	104.3	107.4	103.7	81.7
3月	119.7	109.5	113.8	110.1	128.3	111.6	117.5	3月	88.0	85.8	88.0	88.0	110.7	97.7	82.8
4月	123.7	111.8	118.8	112.7	125.6	112.3	114.3	4月	91.9	87.6	90.8	84.2	100.2	99.8	81.6
5月	118.8	110.0	113.7	110.7	130.7	111.6	111.9	5月	96.2	93.6	94.2	89.0	116.6	104.6	81.6
6月	117.9	111.5	113.2	111.6	130.0	112.1	114.7	6月	97.5	97.5	95.9	96.1	126.9	104.7	80.4
7月	114.9	111.9	110.5	112.1	132.3	111.5	114.5	7月	100.0	98.7	98.8	96.6	138.1	105.3	77.6
8月	118.2	112.3	113.7	112.7	130.6	111.3	117.2	8月	98.0	100.4	97.9	98.2	118.8	106.8	76.6
9月	114.4	112.3	111.2	112.2	131.1	111.6	118.1	9月	96.7	99.6	96.9	98.9	115.8	106.8	76.7
10月	112.3	113.2	108.6	112.1	132.1	113.3	117.7	10月	100.3	101.3	99.6	100.7	118.0	106.8	78.8
11月	114.6	113.6	111.6	113.9	130.6	113.4	116.1	11月	98.6	99.0	97.0	98.2	117.6	106.4	78.0
12月	117.9	113.9	112.2	113.7	131.3	114.6	118.9	12月	99.9	101.1	99.0	101.8	120.4	104.6	77.6
19年 1月	118.0	112.6	114.9	113.3	132.3	113.5	121.3	24年 1月	101.2	101.6	99.4	101.8	124.2	105.7	76.3
2月	117.1	113.3	113.4	113.5	136.3	113.3	118.6	2月	98.6	101.3	96.5	102.0	125.9	106.8	80.5
3月	123.0	113.2	117.4	113.2	133.1	113.5	118.1	3月	100.1	101.1	97.7	102.0	139.2	109.7	82.2
4月	120.6	112.8	116.4	113.6	130.5	113.4	119.4	4月	102.3	100.6	101.1	100.1	124.8	111.9	80.7
5月	121.8	114.2	117.2	114.7	132.9	113.4	121.6	5月	99.6	98.8	98.9	98.9	125.2	110.0	78.8
6月	122.6	114.2	118.3	115.1	128.8	113.3	123.5	6月	99.1	98.1	98.6	97.4	118.3	110.2	79.6
7月	119.7	114.3	116.1	114.2	140.4	113.8	119.0	7月	97.6	97.5	97.0	95.5	123.1	111.8	78.3
8月	121.2	117.2	118.0	117.8	134.1	114.0	116.2	8月	97.6	96.1	97.1	95.4	127.3	112.2	78.5
9月	120.3	115.4	117.4	116.0	134.6	114.5	115.3	9月	96.9	94.0	96.7	92.9	126.4	112.2	77.6
10月	121.1	117.5	118.8	117.8	131.6	115.3	114.8	10月	99.2	94.3	97.0	93.3	124.4	112.2	79.7
11月	117.9	115.8	115.7	116.7	132.5	116.3	110.3	11月	100.1	93.4	97.5	91.8	133.3	111.8	82.6
12月	119.0	116.7	116.2	118.3	131.6	115.9	113.1	12月	99.9	94.6	98.6	95.2	131.6	110.4	86.3
20年 1月	119.0	117.1	117.2	118.3	131.1	115.4	106.6								
2月	122.1	117.3	119.0	118.2	132.1	115.8	104.3								
3月	119.1	116.2	117.8	118.1	134.4	115.6	99.4								
4月	121.7	115.6	120.0	116.2	137.6	114.1	104.1								
5月	120.6	116.1	119.8	116.4	132.5	114.6	105.5								
6月	116.5	112.9	114.0	112.4	134.0	115.7	105.3								
7月	119.0	112.7	117.8	111.5	129.9	116.3	108.1								
8月	114.6	108.7	111.8	108.5	136.2	116.1	108.8								
9月	113.0	110.0	110.5	108.1	131.8	117.1	104.8								
10月	113.6	107.4	111.1	106.3	132.8	118.2	97.0								
11月	106.3	100.1	103.5	98.8	133.0	119.1	95.3								
12月	98.7	91.8	98.6	91.9	137.0	119.9	90.3								
21年 1月	93.7	83.7	90.8	83.3	128.8	119.6	89.5								
2月	87.6	76.6	84.4	79.1	118.8	114.8	97.9								
3月	83.8	77.5	82.6	79.6	110.6	111.2	98.3								
4月	81.8	80.9	79.5	80.6	109.4	108.7	97.7								
5月	82.6	84.0	81.2	83.0	106.5	106.7	96.5								
6月	84.5	85.6	83.2	85.2	103.6	104.6	95.6								
7月	83.5	86.7	81.5	86.1	105.2	103.7	95.6								
8月	85.0	88.0	83.7	87.5	102.0	103.0	92.8								
9月	90.5	91.0	92.0	90.7	102.3	102.1	89.8								
10月	91.3	93.3	90.5	94.6	105.5	99.7	91.1								
11月	93.0	95.3	93.0	94.3	100.5	99.7	86.2								
12月	95.8	96.1	95.7	96.1	100.0	99.2	92.1								

注) 指数は季節調整済指数(平成22年平均=100.0)
 為替相場(日銀)の出典は、日本銀行の「東京市場(ドル・円スポット 17時時点/月末)」である。
 なお、ドルにつき円の表示を(円/ドル)と表示する。